

重複ファイルマージツール (DuplicateFileMerge)

マニュアル

Ver.1.00

KHFactory

内容

1	はじめに	4
2	機能概要	5
3	インストール・ライセンスについて	6
3.1	インストール・アンインストール	6
3.2	ライセンス	7
3.2.1	ライセンスについて	7
3.2.2	正規版について	7
3.2.3	試供品（試供モード）について	7
3.2.4	ライセンス認証方法	7
3.3	複数実行対応	8
3.4	バージョンアップ	8
4	使用方法	9
4.1	重複ファイルの検索手順	9
4.2	画像ファイルの判定と検索結果	10
4.3	マージ（統合）の実施	13
5	画面説明	17
5.1	メイン画面	17
5.1.1	実行結果表示欄のコンテキストメニュー	21
5.1.2	画像比較判定画面	23
5.2	マージ画面	24
5.2.1	画像ファイル選択画面	28
5.2.1.1	選択画面のコンテキストメニュー	30
5.2.2	マージ先ツリー表示のコンテキストメニュー	31
5.3	設定画面	33
5.3.1	設定画面「共通」タブ	35
5.3.2	設定画面「ファイル名判定」タブ	39
5.3.3	設定画面「テキスト判定」タブ	42
5.3.4	設定画面「画像判定」タブ	44

5.3.5	設定画面「マージ設定」タブ.....	47
5.3.6	設定画面「ログ」タブ.....	52
5.4	バージョン画面.....	54
6	注釈説明.....	56
6.1	(注1) 実行・表示の Windows 任せについて.....	56
6.2	(注2) ファイルのバックアップについて.....	56
7	あとがき.....	58
7.1	バグを発見した場合.....	58
7.2	ご意見・ご要望.....	58
7.3	各種 URL.....	58
8	更新履歴.....	59

1 はじめに

この度は試供版のダウンロードもしくは正規版のお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本マニュアルは試供版、正規版共通となっております。なお、試供品は機能制限があります。ご了承ください。

このツールは、ファイル名、ファイル内容（OR・AND 条件）が重複するファイルを検索し、重複したファイルをマージ（統合）するツールです。

画像ファイルの重複を検索し、マージを行うことを目的として作成したため、サイズの異なる画像や、回転した画像、一部編集（文字の追加など）した画像についても一致と判断できるように作成しております。

また、エンコードの異なるテキストファイルの内容の比較や、バイナリーファイルの比較も行えます。

マージ（統合）に関しては、複数の同一ファイルの優先ファイルを判断し、統合出来るように各種設定を設けております。

使いこなしていただければ幸いです。

2 機能概要

このツールには以下の機能があります。

【重複ファイルの検索】

- ファイル名の一致判定
 - ・ 大文字・小文字、全角・半角などの曖昧検索
 - ・ コピーファイルなどの特定文字列（「・コピー」）を除外した検索（設定追加可能）
- ファイル内容の一致判定
 - ・ テキストファイルの判定（エンコードが異なっても可）
 - ・ 画像ファイルの判定（サイズ違い、回転、一部編集も可）
 - ・ バイナリファイルの判定（完全一致のみ）
- ファイル名の一致判定、ファイル内容の一致判定の OR・AND 条件の変更

【重複ファイルのマージ（統合）】

- ファイル内容を見ながらの優先ファイルの選択とマージ先の指定
- マージ時のファイル制御の選択
 - ・ マージ元ファイルの移動・コピーの選択
 - ・ 重複ファイルのごみ箱へ移動・削除・保持の選択
 - ・ マージ先ファイルのごみ箱へ移動・削除・バックアップの選択
- 優先ファイルの自動判定
- マージの自動実行

【その他】

- ログの出力
 - ・ マージによるファイルの移動、削除、ごみ箱へ移動などの履歴
 - ・ アクセス権がないなどのエラーの履歴

3 インストール・ライセンスについて

3.1 インストール・アンインストール

インストーラーはありません。

「DuplicateFileMerge.zip」を任意のディレクトリに展開し、ツールの起動は「DuplicateFileMerge.exe」を実行してください。

なお、このツールで使用されるファイルは以下の通りです。

表 1 ファイル一覧

種類	ファイル名	説明
付属	DuplicateFileMerge.exe	実行ファイル
付属	簡易マニュアル.txt	簡略版のマニュアル
付属	ツールマニュアル.pdf	正規マニュアル（本書・PDF版）
生成	DuplicateFileMerge.conf	設定ファイル（設定画面で保存すると生成）
生成	DuplicateFileMerge.key	認証ファイル ライセンスキーを認証すると生成 ※実行ファイルと同じディレクトリに置くこと
生成	DuplicateFileMerge.log	ログファイル（ファイル名は自由に設定可能）
生成	XXX.YYY_old	旧ファイル（1つ前のファイルをバックアップ） ログファイルやマージファイルで生成 ※付加文字(_old)や世代番号管理の設定が可能
ダウンロード	DuplicateFileMerge_NewVer.zip	バージョン画面から最新版をダウンロード

3.2 ライセンス

3.2.1 ライセンスについて

正規版は使用者 1 名に対して 1 ライセンスです。

1 名であれば、複数の PC で使用しても問題ありません。

企業など複数の方が使用する場合、ライセンス契約のお問い合わせをお願いいたします。

なお、正規版のバージョンアップは無料で行えるように作成されております。

試供品（試供モード）でのご利用については特に制限はありません。

3.2.2 正規版について

正規品としてご購入頂いた場合でも、ライセンス認証を行うまでは試供モードで起動します。

ライセンス認証を行うと全機能が解放されます。（「3.2.4 ライセンス認証方法」参照）

3.2.3 試供品（試供モード）について

試供モードは、機能や使い勝手をご評価いただくための物です。

機能の制限はありませんが、実行回数や試用期限の制限があり、PC 間では設定データの引継ぎ（ライセンス認証で引継ぎ可能となる）が出来ません。

ご購入の検討にご利用ください。

正規版のバージョンアップに合わせて試供品もバージョンアップしております。最新の試供品を取得する場合、Vector・ホームページ等から再度ダウンロードしてください。

なお、バージョンが異なる場合、設定ファイルは引き継げませんが、制限がリセットされます。再度ご試供ください。

また、不正使用を検知するように作成しております。不正使用を行った場合、法的措置を取らせていただくことがありますので、ご了承ください。

3.2.4 ライセンス認証方法

ご購入頂くと、ライセンスキーが通知されます。

設定画面のバージョンタブからバージョン画面を開き、ライセンスキーを入力してください。認証ファイルが生成され、正規版として動作するようになります。

3.3 複数実行対応

実行ファイル「DuplicateFileMerge.exe」をコピーし、ファイル名を変更することで複数の同時実行が可能となります。（同ファイル名での二重起動は禁止で、起動済みがアクティブとなる）

設定を引き継ぎたい場合は、設定ファイルをコピーし、ファイル名（.confの前の部分）を変更した実行ファイル名に合わせてください。

設定ファイルが無い場合でも起動可能です。設定を保存した時に生成されます。

なお、正規版で他ディレクトリに実行ファイルをコピーした場合、認証ファイル「DuplicateFileMerge.key」（ファイル名は固定の為、変更しない）もコピーしてください。

3.4 バージョンアップ

バージョン画面から最新バージョンのファイルをダウンロードすることができます。

ダウンロードすると、実行パスに「DuplicateFileMerge_NewVer.zip」として保存されます。

これを展開し、実行ファイルを置き換えることで最新版へのバージョンアップとなります。

なお、最新のバージョン番号は、バージョン画面の「最新バージョン番号」ボタンを押すと取得できます。

※正規版のみ実行可能（無償）、インターネット環境が必要

4 使用方法

基本的な使用方法を以下に記載する。細かい機能や設定については「5 画面説明」を参照。

4.1 重複ファイルの検索手順

ファイル名やファイルの内容を判定し、同じファイル（重複ファイル）を検索する。

重複ファイルを検索する簡単な手順を以下に記述する。

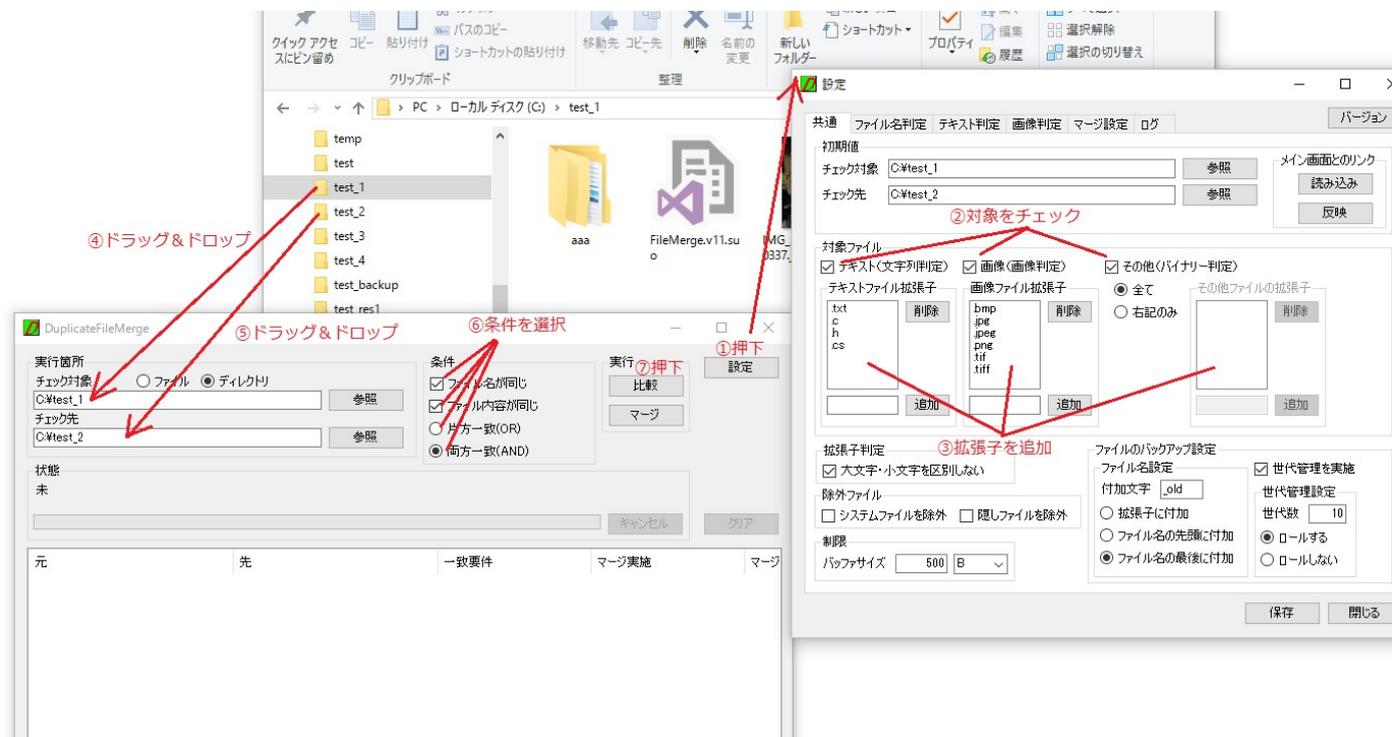


図 1 重複ファイルの検索手順

- ① メイン画面の「設定」ボタンを押下する。
- ② 設定画面の「対象ファイル」で、検索したいファイルの種類を選択する。
- ③ 対象ファイルの拡張子が不足している場合は追加する。
- ④ エクスプローラなどから重複を確認したいファイルもしくはディレクトリを「チェック対象」欄にドラッグ&ドロップする。※直入力、参照の使用も可能
- ⑤ エクスプローラなどから重複ファイルが格納されているディレクトリを「チェック先」欄にドラッグ&ドロップする。※直入力、参照の使用も可能
- ⑥ 一致と判断する条件を選択する。（ファイル名、ファイル内容の判定とその OR・AND 条件）
※AND 条件は、ファイル名が同じで、かつ、ファイルの内容が同じ場合に一致と判断。
※OR 条件は、ファイル名かファイルの内容のどちらか一方でも一致と判断。
- ⑦ 「比較」ボタンを押下する。
→結果欄に比較結果（背景は白）が表示される。

※画像ファイルの判定については次項を参照。ファイル名、テキストの判定に関しては設定画面を参照。

4.2 画像ファイルの判定と検索結果

画像ファイルの判定は、比較する画像のサイズや画質を低い方に合わせ、1ビットずつ色を取り出し、比較している。

そのため、画像判定の設定は、画像を変換するための条件と判断基準を設定する。

画像判定の簡単な設定を以下の図に記載する。

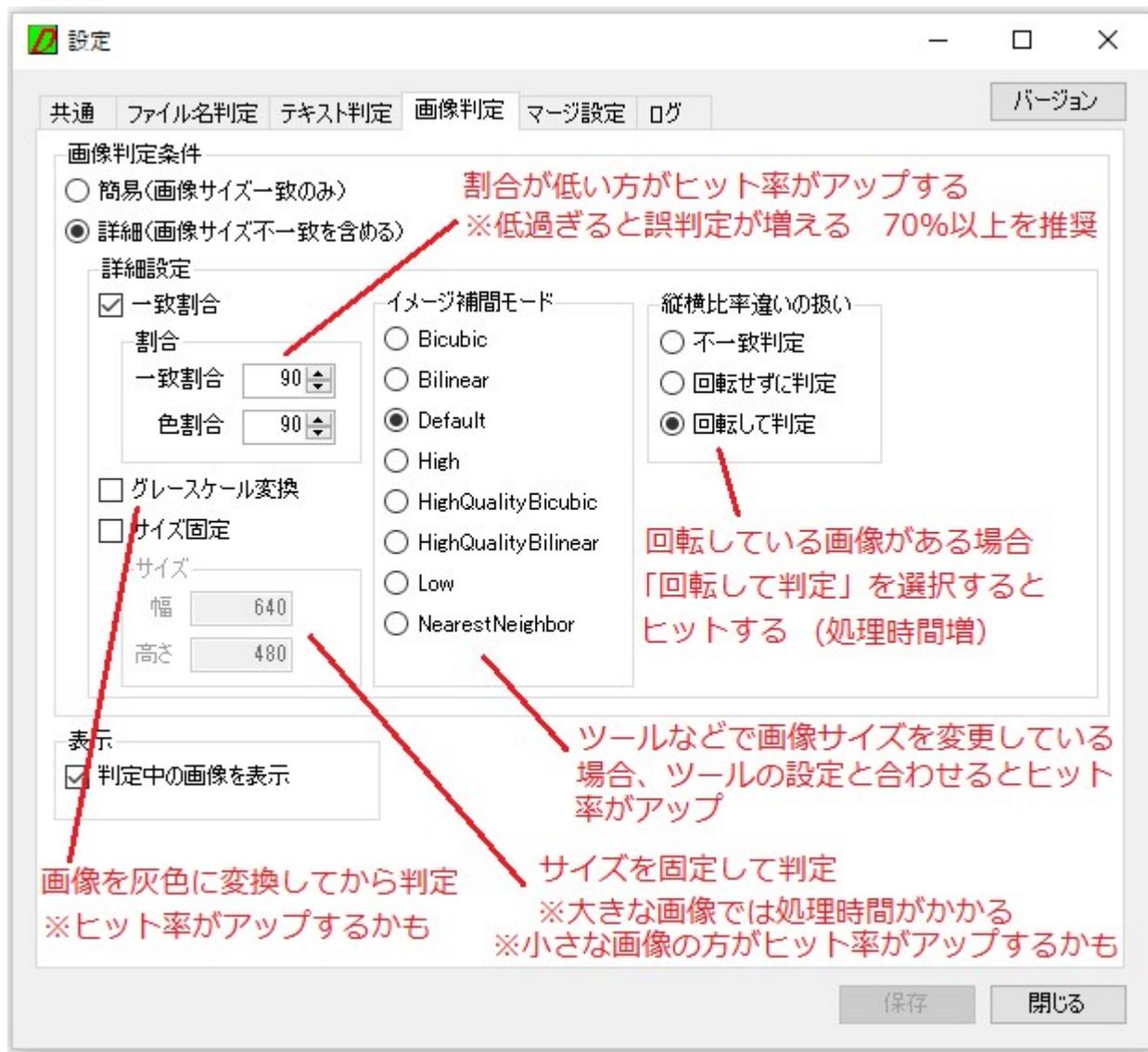


図 2 画像ファイルの判定設定

※イメージ補間モードとは、サイズを変更した際に生じる画素と画素の隙間をどう埋めるかというモードです。画像サイズを変更したツールの設定と合わせるとヒット率があがります。

サンプルとして、同じファイルをサイズ、フォーマット、回転などして比較した結果を以下に示す。実行手順は「4.1 重複ファイルの検索手順」を参照。



図 3 画像ファイルの判定設定

サンプルとしたファイルの種類は以下の通り。(画像サイズ 小 : 640×360、大 : 4608×2532)

- ① 「フォト」で回転した画像 (小) ※チェック対象
- ② 通常画像 (小) ※チェック対象
- ③ フォーマット違い (png) の画像 (小)

- ④ フォーマット違い (bmp、16色) の画像 (小)
- ⑤ 通常画像 (大)
- ⑥ フォーマット違い (bmp、256色) の画像 (小) ※①とは一致率 90%で不一致、80%で一致
- ⑦ フォーマット違い (tif) の画像 (小)

※Windows10 の「フォト」で回転したファイルは、ファイルサイズや内容が若干ずれるようで、一致率 100%ではヒットしません。上記⑥も回転が原因で一致率を下げないとヒットしませんでした。

※バイナリーファイルは設定なし、テキストファイルはエンコードの設定のみのため省略

4.3 マージ（統合）の実施

比較した結果を元にマージ（統合）を行う。

比較後にマージ（統合）を実施する簡単な手順を以下に記載する。なお、マージはファイルの移動、削除など行うため、必ず設定をチェックすること。

【マージの設定】

マージ先、ファイルの制御（移動／コピー、削除／ごみ箱移動など）、優先ファイルの判定方法を設定する。



図 4 マージの設定

- ① 設定画面の「マージ設定」タブを選択する。
- ② マージ先を選択する。
※「チェック対象」、「チェック先」を選択した場合、上書きされるため注意。「右記パス」を推奨。
- ③ ②で右記パスを選択した場合、マージ先のパスを入力（D&D可）する。
※存在しないディレクトリのパスでも可。マージ時に生成される。
- ④ 欠番

- ⑤ マージ対象を選択する。
「重複ファイルのみ」とした場合、メイン画面の結果部分のみがマージされる。
「全ファイル」とした場合、重複していないファイルに関してもマージされる。(実質移動)
- ⑥ マージ条件として、自動・手動を選択する。
自動とした場合、「自動設定」欄の設定で優先ファイルが判断され、自動でマージする。
手動とした場合、1 ファイルずつ、手動で優先ファイルを選択し、マージする。ただし、最初に選択されるファイルは自動設定に基づく優先ファイルとなる。
- ⑦ マージ条件の詳細設定を行う。
自動の場合、サイズや更新日時、カラー数（画像のみ）とその優先順位の設定から優先ファイルが選択される。
手動の場合、手動で選択するファイルを選択する。「重複ファイルのみ」とした場合、その他のファイルはファイルの選択がないため、自動でマージされる。
- ⑧ ファイル設定のモードを選択する。マージするファイルの動作で、
コピーとした場合、元ファイルが残る
移動とした場合、マージ先に移動される。
- ⑨ ファイル設定の重複ファイルを選択する。マージするファイル以外の一致ファイルの動作で、
ごみ箱へ移動の場合、マージするファイル以外の一致ファイルをごみ箱へ移動する。
削除の場合、マージするファイル以外の一致ファイルを削除する。
保持の場合、マージするファイル以外の一致ファイルはそのまま残る。
- ⑩ ファイル設定のマージ先ファイルを選択する。マージ先に同じファイル名があった場合の動作で、
ごみ箱へ移動の場合、マージ先の同じファイル名のファイルをごみ箱へ移動する。
削除の場合、マージ先の同じファイル名のファイルをご削除する。
バックアップの場合、マージ先の同じファイル名のファイルを別名でバックアップする。(バックアップの設定は共通タブ)

【マージの実行】

比較した結果をマージする手順を以下に示す。実行手順は「4.1 重複ファイルの検索手順」を参照。

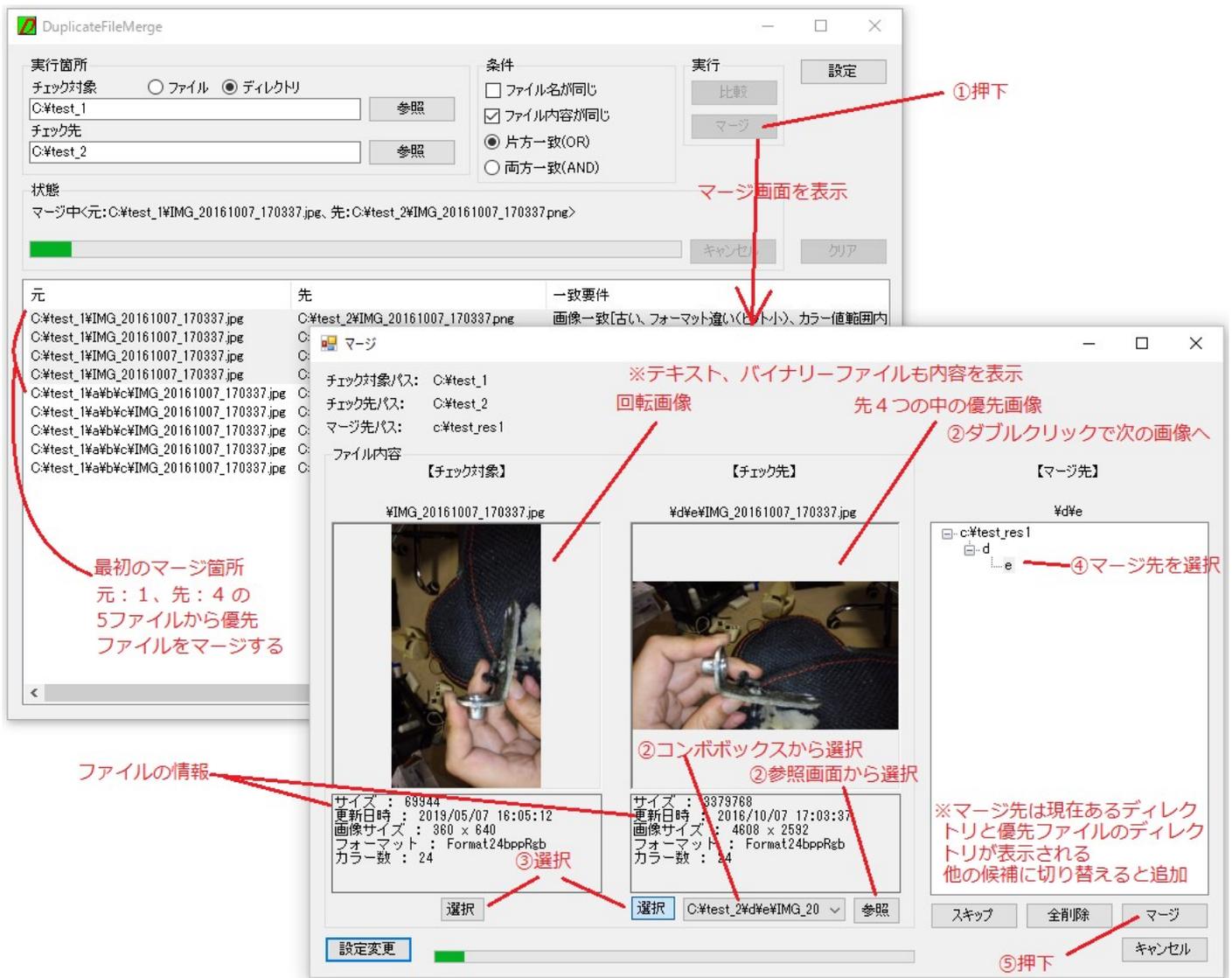


図 5 マージの実行手順

- ① 結果がある状態で「マージ」ボタンを押下する。
→マージ画面が表示される。
※結果がない場合は、比較から実行するか確認される。
- ② チェック先のファイルを選択する。選択はコンボボックスの選択、画僧をダブルクリック、参照画面から選択することができる。
※初期表示は自動選択の詳細設定を元に優先ファイルが選択される。
- ③ チェック対象、チェック先の「選択」ボタンで優先ファイルを選択する。
※初期表示は自動選択の詳細設定を元に優先ファイルが選択される。
- ④ マージ先を選択する。
※初期表示は、優先ファイルのディレクトリ構造に基づいたマージ先。
※優先ファイルを変更するとそのファイルのディレクトリ構造に基づいたマージ先に変更される。

⑤ 「マージ」ボタンを押下する。

※このタイミングでファイルの移動、削除などが行われるので注意。

※削除系の設定にしている複数のファイルがある場合は、全ファイル削除か選択するか確認される。

5 画面説明

5.1 メイン画面

重複ファイルの検索の実施とマージを開始（マージはマージ画面で実施）する画面。

結果がリストに表示される。

※サイズ変更可

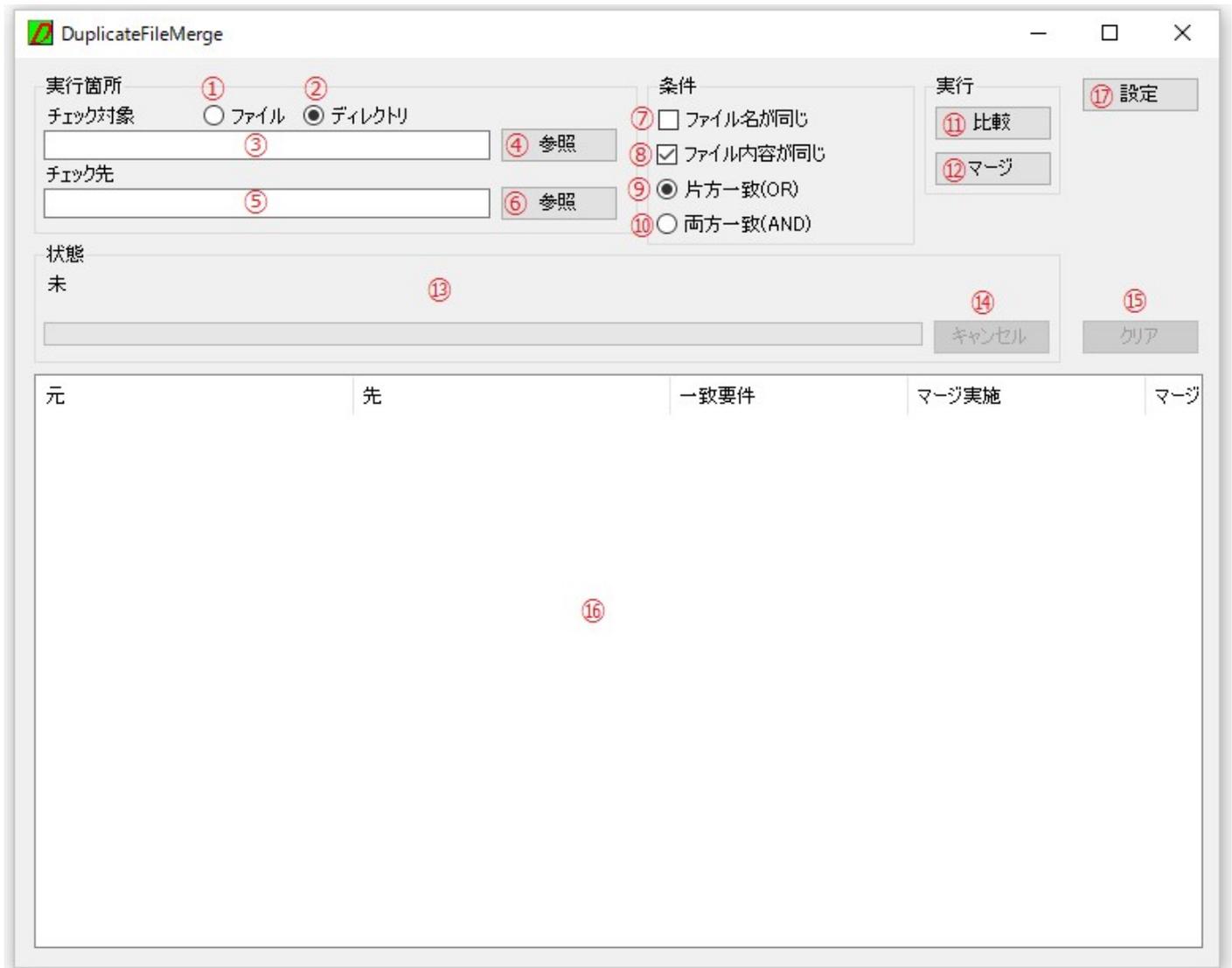


図 6 メイン画面

- ① 「チェック対象」「ファイル」ラジオボタン
「参照」ボタン使用時にチェック対象としてファイルを選択したい場合にチェックする。
- ② 「チェック対象」「ディレクトリ」ラジオボタン
「参照」ボタン使用時にチェック対象としてディレクトリを選択したい場合にチェックする。
- ③ 「チェック対象」入力欄
チェック対象のパスを入力する。

※相対パス指定／フルパス指定／ドラッグ&ドロップが可能

- ④ 「チェック対象」「参照」ボタン
「開くファイルの選択」(①選択) もしくは「フォルダーの参照」(②選択) を開き、チェック対象を指定する。
- ⑤ 「チェック先」入力欄
チェック対象のパスを入力する。
※相対パス指定／フルパス指定／ドラッグ&ドロップが可能
- ⑥ 「チェック先」「参照」ボタン
「フォルダーの参照」を開き、チェック先を指定する。
- ⑦ 「条件」「ファイル名が同じ」チェックボックス
ファイル名を判定して重複ファイルを検索する場合にチェックする。
- ⑧ 「条件」「ファイル内容が同じ」チェックボックス
ファイルの内容を判定して重複ファイルを検索する場合にチェックする。
- ⑨ 「条件」「片方一致 (OR)」ラジオボタン
重複ファイルを検索する際に、ファイル名、ファイル内容のどちらか一方でも一致した場合 (OR 条件) に重複ファイルと判断する場合にチェックする。
- ⑩ 「条件」「両方一致 (AND)」ラジオボタン
重複ファイルを検索する際に、ファイル名、ファイル内容の両方が一致した場合 (AND 条件) に重複ファイルと判断する場合にチェックする。
- ⑪ 「実行」「比較」ボタン
重複するファイルを検索し、結果をリストに表示する。
- ⑫ 「実行」「マージ」ボタン
検索した結果のマージを開始し、マージ画面が開く。
※結果がない場合は、比較から実行するか、マージのみ (ファイルの移動のみ) 行うかを確認。
- ⑬ 「状態」表示欄
比較やマージの実行状態を表示する。
- ⑭ 「状態」「キャンセル」ボタン
比較やマージの実行をキャンセルする。

- ⑮ 「クリア」ボタン
比較の結果をリストから削除する。
- ⑯ 「実行結果」表示欄
比較やバックアップの結果を表示する。
以下の表に詳細を記載する。
※コンテキストメニュー有り（「5.1.1 実行結果表示欄のコンテキストメニュー」参照）

表 2 実行結果欄の各カラム

カラム	内容
元	チェック対象の重複したファイル
先	チェック先でチェック対象と重複したファイル
一致要件	一致した内容。 種別（先頭）：「表 3 一致要件の表示内容（種別）」参照 詳細（[]内）：「表 4 一致要件の表示内容（詳細）」参照
マージ実施	マージ実施時の動作
マージ先	マージ実施時のマージ先

※マージを実施すると各カラムの背景色が変更される。「表 5 カラムの背景色」参照。

表 3 一致要件の表示内容（種別）

種別	内容
ファイル名一致	ファイル名が完全に一致した場合
ファイル名の一部が一致	ファイル名の一部が一致した場合（ファイル名の曖昧設定）
ファイル名の一部を除外で一致	ファイル名の一部を除外して一致した場合（ファイル名の曖昧設定）
ファイル名の一部が曖昧文字で一致	ファイル名の一部が曖昧文字（大文字・小文字、全角・半角の不一致）で一致した場合（ファイル名の曖昧設定）
テキスト一致	テキストファイルが一致した場合
画像一致	画像ファイルが一致した場合
バイナリー一致	バイナリーファイルが一致した場合

表 4 一致要件の表示内容（詳細）

詳細	内容
完全一致	ファイルの内容が完全に一致した場合
サイズ違い（小）	チェック対象の方がファイルサイズが小さい場合
サイズ違い（大）	チェック対象の方がファイルサイズが大きい場合
古い	チェック対象の方がファイルの更新日時が古い場合
新しい	チェック対象の方がファイルの更新日時が新しい場合
フォーマット違い（ビット小）	チェック対象の方がビット数（ビットの深さ）が小さい場合

	※画像ファイルのみ
フォーマット違い (ビット大)	チェック対象の方がビット数 (ビットの深さ) が大きい場合 ※画像ファイルのみ
一致割合範囲内	ビットの不一致箇所があっても割合内であった場合 ※画像ファイルのみ
カラー値範囲内	ビットのカラー値が不一致であるが範囲内であった場合 ※画像ファイルのみ
回転 90 度	90 度回転した画像だった場合 ※画像ファイルのみ
回転 270 度	270 度回転した画像だった場合 ※画像ファイルのみ
ファイルフォーマット違い	ファイルのフォーマットが異なる場合 ※テキストファイル：エンコード、画像ファイル：拡張子で判定

表 5 カラムの背景色

カラムの背景色	意味
白 (White)	未実施・マージ後変更なし
青緑 (Cyan)	マージ元のファイル
黄 (Yellow)	他のマージにより移動
桃 (Pink)	マージにより削除
赤 (Red)	エラーが発生

- ⑰ 「設定」 ボタン
設定画面を表示する。(「5.3 設定画面」参照)

5.1.1 実行結果表示欄のコンテキストメニュー

結果表示欄で右クリックすると表示されるコンテキストメニュー。

結果から個別でマージを実行したり、元ファイルの表示などを行うことができる。

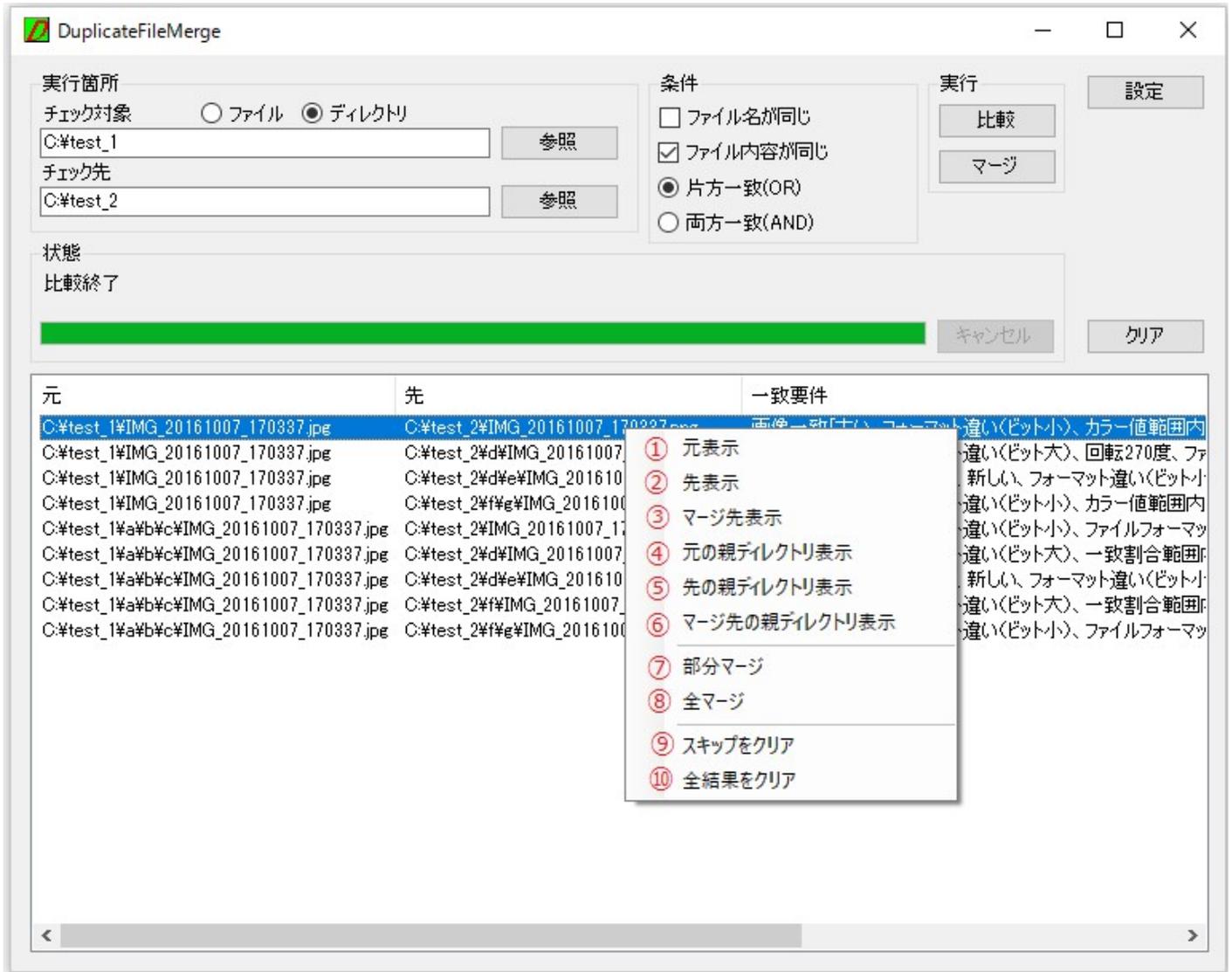


図 7 実行結果表示欄のコンテキストメニュー

- ① 「元表示」
「元」カラムのファイルを実行する。
※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)
- ② 「先表示」
「先」カラムのファイルを実行する。
※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)
- ③ 「マージ先表示」
「マージ先」カラムのファイルを実行する。

※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)

④ 「元の親ディレクトリ表示」

「元」カラムのパスの親ディレクトリを実行する。

※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)

(通常はエクスプローラーでディレクトリ表示)

⑤ 「先の親ディレクトリ表示」

「先」カラムのパスの親ディレクトリを実行する。

※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)

(通常はエクスプローラーでディレクトリ表示)

⑥ 「マージ先の親ディレクトリ表示」

「マージ先」カラムのパスの親ディレクトリを実行する。

※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)

(通常はエクスプローラーでディレクトリ表示)

⑦ 「部分マージ」

リストから選択した箇所のみマージを行う。

ただし、同一の元が複数ある場合は、対応する先が全ファイル実行対象となる。

⑧ 「全マージ」

メイン画面の「マージ」ボタンと同等。

⑨ 「スキップをクリア」

マージでスキップした箇所を再度実行可能とする。

⑩ 「全結果をクリア」

メイン画面の「クリア」ボタンと同等。

5.1.2 画像比較判定画面

画像ファイルを比較する際の画像を表示する。(テキスト、バイナリーファイルの内容は表示しない)

画像判定の設定で「判定中の画像を表示」にチェックを入れている場合のみ表示され、判定するために変換（サイズやビット数の調整、回転が反映）した画像が表示される。

画面での操作は一切ない。

※サイズ変更可

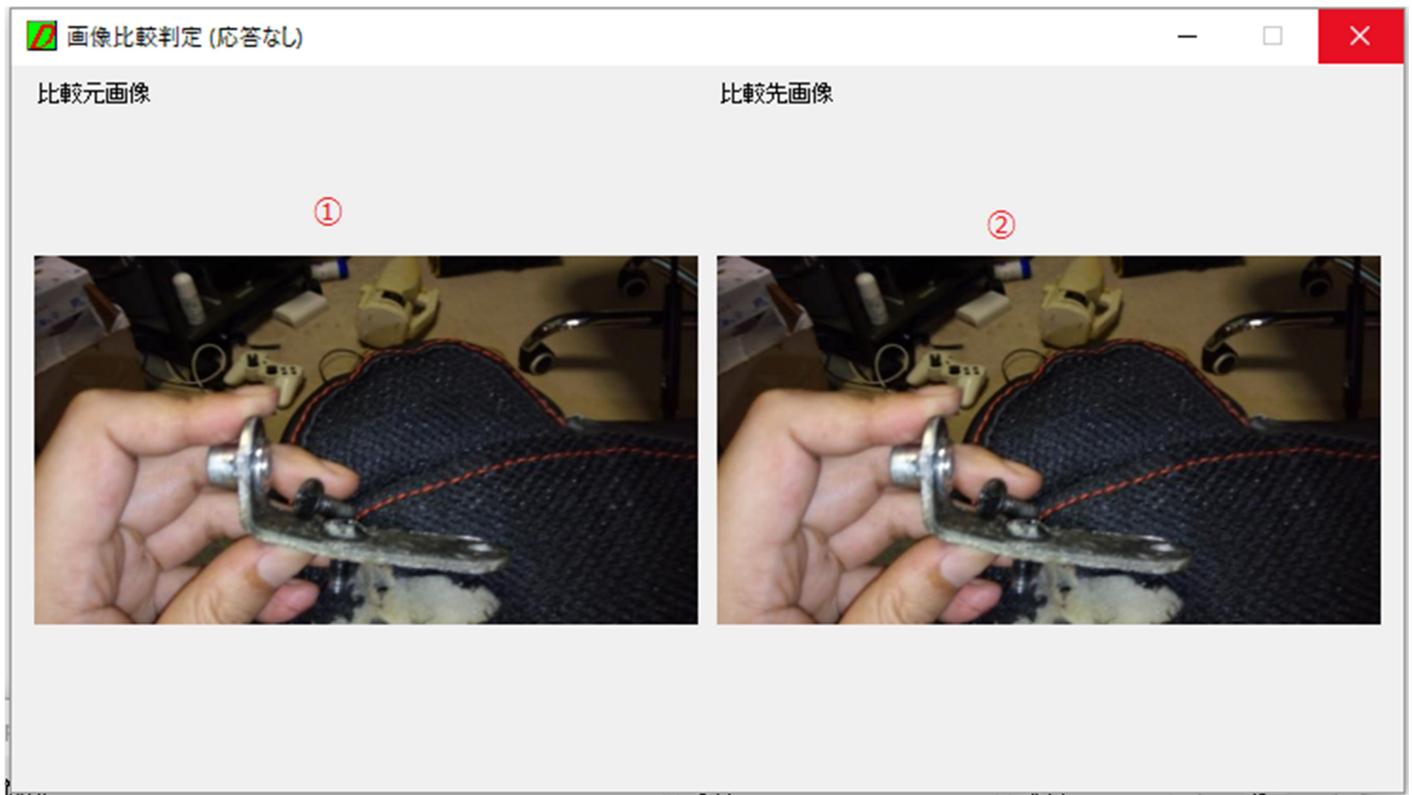


図 8 画像比較判定画面

- ① 「比較元画像」
比較しているチェック対象の画像。

- ② 「比較先画像」
比較しているチェック先の画像。

5.2 マージ画面

重複ファイルのマージを実施する画面。

メイン画面の「マージ」ボタン、もしくは、実行結果表示欄のコンテキストメニューの「部分実行」、「全実行」からマージ可能なファイルがある場合に表示される。

※サイズ変更可

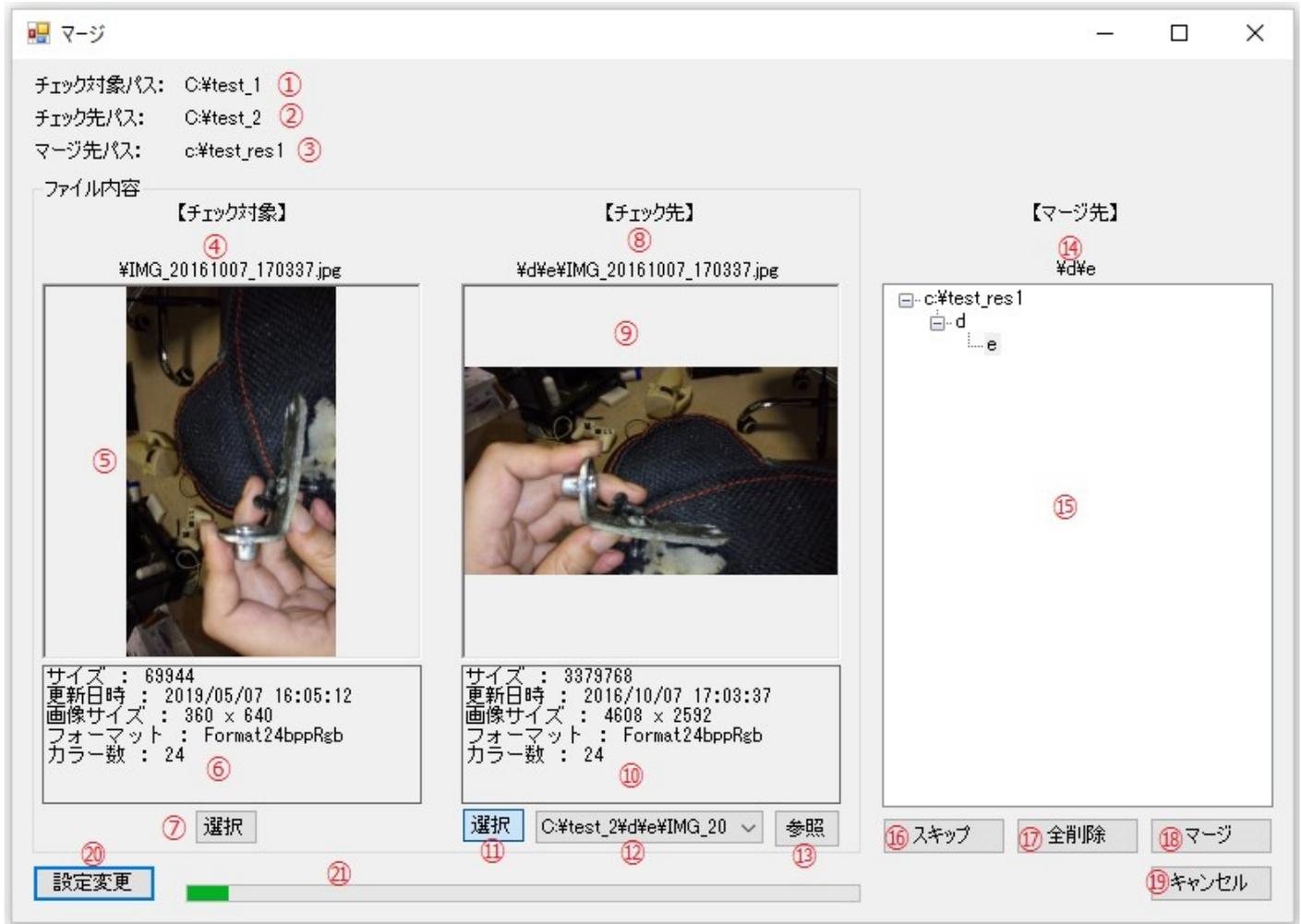


図 9 マージ画面

- ① 「チェック対象パス」表示
メイン画面のチェック対象のパスが表示される。
- ② 「チェック先パス」表示
メイン画面のチェック先のパスが表示される。
- ③ 「マージ先パス」表示
マージ先のパスが表示される。
※ 「マージ設定」タブの「マージ先」でマージ先を指定。

- ④ 「チェック対象のファイル名」表示
マージを実施するチェック対象のファイル名を表示する。
ディレクトリ階層を考慮し、①と接続するとフルパス表示となる。
- ⑤ 「チェック対象のファイル内容」表示
マージを実施するチェック対象のファイルの内容を表示する。
画像ファイルの場合は画像、テキストファイルの場合はテキストの先頭から表示可能な文字数、バイナリーファイルの場合はバイナリー（00～ffまで）の先頭から表示可能な文字数を表示する。
※テキスト、バイナリーの表示文字数は現状 32767 文字まで
※ファイル内容部分をドラッグし、ツリーにドロップすることでマージを実行することも可能
- ⑥ 「チェック対象のファイル情報」表示
マージを実施するチェック対象のファイルの情報を表示する。
表示される内容は、サイズ、更新日時、（以下画像ファイルのみ）画像サイズ、フォーマット、カラー数。
- ⑦ 「チェック対象のファイル」「選択」ボタン
マージするファイルとしてチェック対象のファイルを選択する。
- ⑧ 「チェック先のファイル名」表示
マージを実施するチェック先のファイル名を表示する。
詳細は④参照。
- ⑨ 「チェック先のファイル内容」表示
マージを実施するチェック先のファイルの内容を表示する。
詳細は⑤参照。
※ダブルクリックで次の候補を選択
- ⑩ 「チェック先のファイル情報」表示
マージを実施するチェック先のファイルの情報を表示する。
詳細は⑦参照。
- ⑪ 「チェック先のファイル」「選択」ボタン
マージするファイルとしてチェック先のファイルを選択する。
- ⑫ 「チェック先のファイル」コンボボックス
チェック先のマージファイル候補を表示し、選択の変更を行う。
- ⑬ 「チェック先のファイル」「参照」ボタン
チェック先のマージファイル候補を画像ファイル選択画面（画像有り）で表示し、選択の変更を行

う。詳細は「5.2.1 画像ファイル選択画面」参照。

⑭ 「マージ先」パス表示

マージ先のパスを表示する。⑮でマージ先を変更すると更新される。
ディレクトリ階層を考慮し、③と接続するとフルパス表示となる。

⑮ 「マージ先」ツリー表示

マージ先をツリーで表示し、マージ先を選択する。

初期に表示されるツリー構造は、マージ先に実在するディレクトリで、マージの優先ファイルの選択を変更する度にそのファイルのディレクトリ構造に合わせてツリーが追加される。追加されたツリーのディレクトリは、マージを実施しないと作成しない。

ツリーをマウス・キーボード操作することで下表のような動作を行う。

表 6 マージ先ツリーでの操作

選択した状態での操作	動作
マウス・左クリック	マージ先選択
マウス・左クリック+そのまま時間経過	ディレクトリ名変更
マウス・右クリック	コンテキストメニュー表示 「」参照
マウス・ダブルクリック	マージ実行
キーボード・F2 キー	ディレクトリ名変更
キーボード・リターンキー	マージ実行
ファイル内容をドラッグ後、ツリーでドロップ	ドラッグしたファイルをドロップされた場所にマージを実行 ※各選択は無視
エクスプローラーなどからドラッグ後、ツリーでドロップ	ドラッグしたファイルをドロップされた場所に移動/コピー

⑯ 「スキップ」ボタン

マージを実施せず、スキップする。

※候補すべてがスキップされるので注意。

※再度実施する場合は、メイン画面（コンテキストメニュー）でスキップの解除が必要。

⑰ 「全削除」ボタン

実施しているマージの候補のファイルを全て削除する。

※マージ設定の「ファイル設定」・「重複ファイル」が「ごみ箱へ移動」の場合はごみ箱へ移動する。

その他の場合は削除されるので注意！

⑱ 「マージ」ボタン

現在選択されているファイルをマージ先のディレクトリにマージする。

実行の際、複数のファイルを削除する場合、確認ダイアログが表示され、全ファイルを削除するか

個別に選択するかキャンセルするかを選択する。

個別に選択する場合、画像ファイル選択画面を表示する。「5.2.1 画像ファイル選択画面」参照。

⑲ 「キャンセル」 ボタン

マージの実行をキャンセルする。

※実施済みのマージは既にファイル移動などが実施されているので注意。再度継続することも可能。
ただし、重複ファイル以外のファイルについての状態は管理していないので注意。

⑳ 「設定」 ボタン

設定画面「マージ設定」タブを表示する。

※連続処理以外であれば、マージ実行中に設定の変更が可能。

㉑ 「進捗バー」 表示

現在のだいたいの実行箇所をバーで表示する。

5.2.1 画像ファイル選択画面

画像ファイルを選択する際、画像を確認しながら選択することができる画面。

画像ファイル以外はパスの表示のみ。

チェック先の候補を選択する場合は、単ファイルの選択、マージ実行時の削除ファイルの個別選択を行う場合は複数ファイルの選択となる。

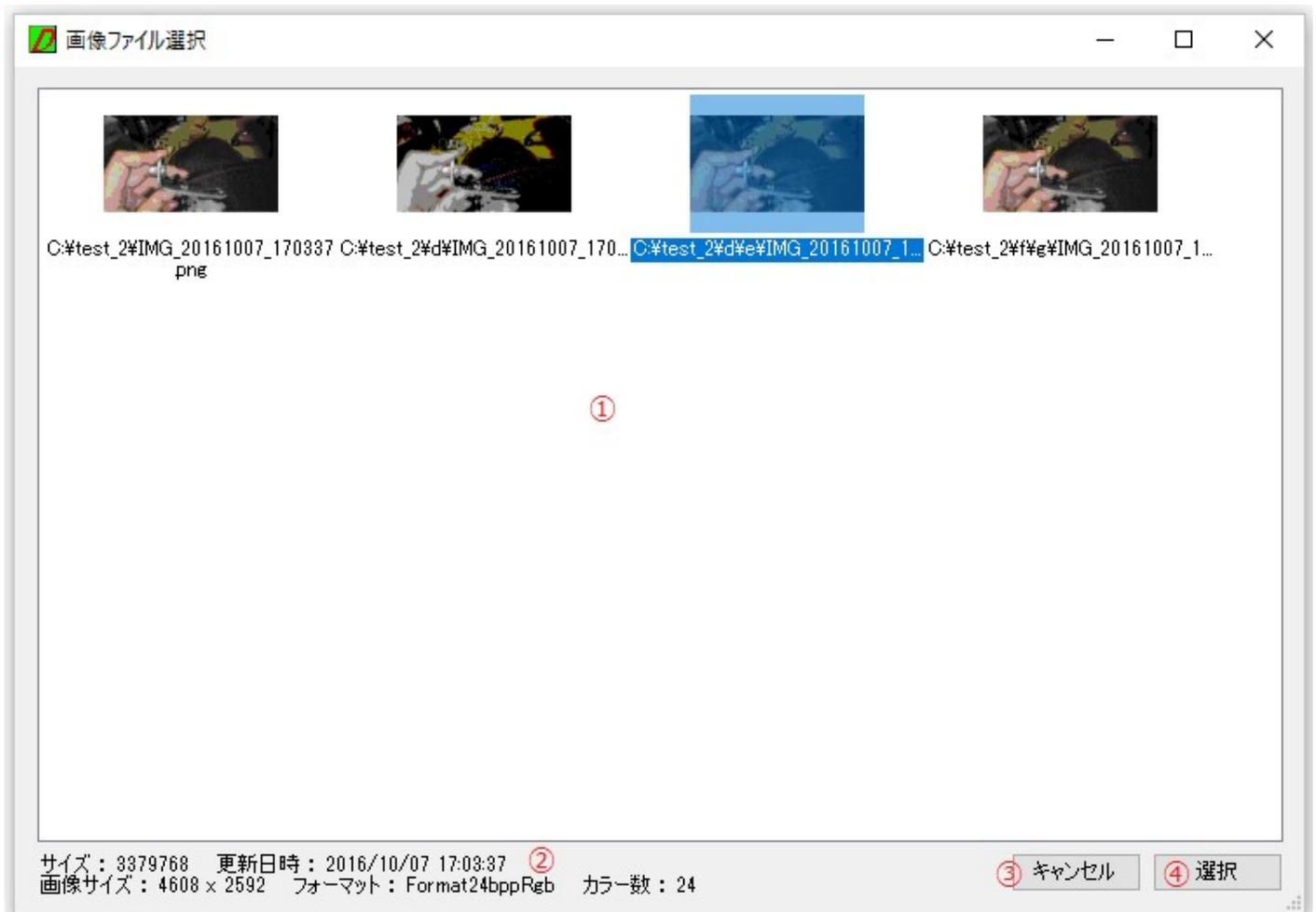


図 10 画像ファイル選択画面

① 「ファイル選択」欄

ファイルを選択する。

チェック先の候補を選択する場合：単ファイルの選択

マージ実行時の削除ファイルの個別選択を行う場合：複数ファイルの選択（SHIFT キー／CTRL キーでの個別選択、マウスでの範囲選択、CTRL+A キーでの全選択が可能）

※コンテキストメニュー有り／リターンキーで選択実行

② 「ファイル情報」表示欄

選択したファイルの情報を表示する。

複数のファイルを選択した場合は、最後のファイルの情報を表示する。

- ③ 「キャンセル」 ボタン
選択をキャンセルする。
マージを実施して、削除ファイルを個別選択した場合、マージも行われない。

- ④ 「選択」 ボタン
選択を実行する。
マージを実施して、削除ファイルを個別選択した場合、マージが実行される。

5.2.1.1 選択画面のコンテキストメニュー

画像ファイル選択画面で右クリックした際に表示されるコンテキストメニュー。

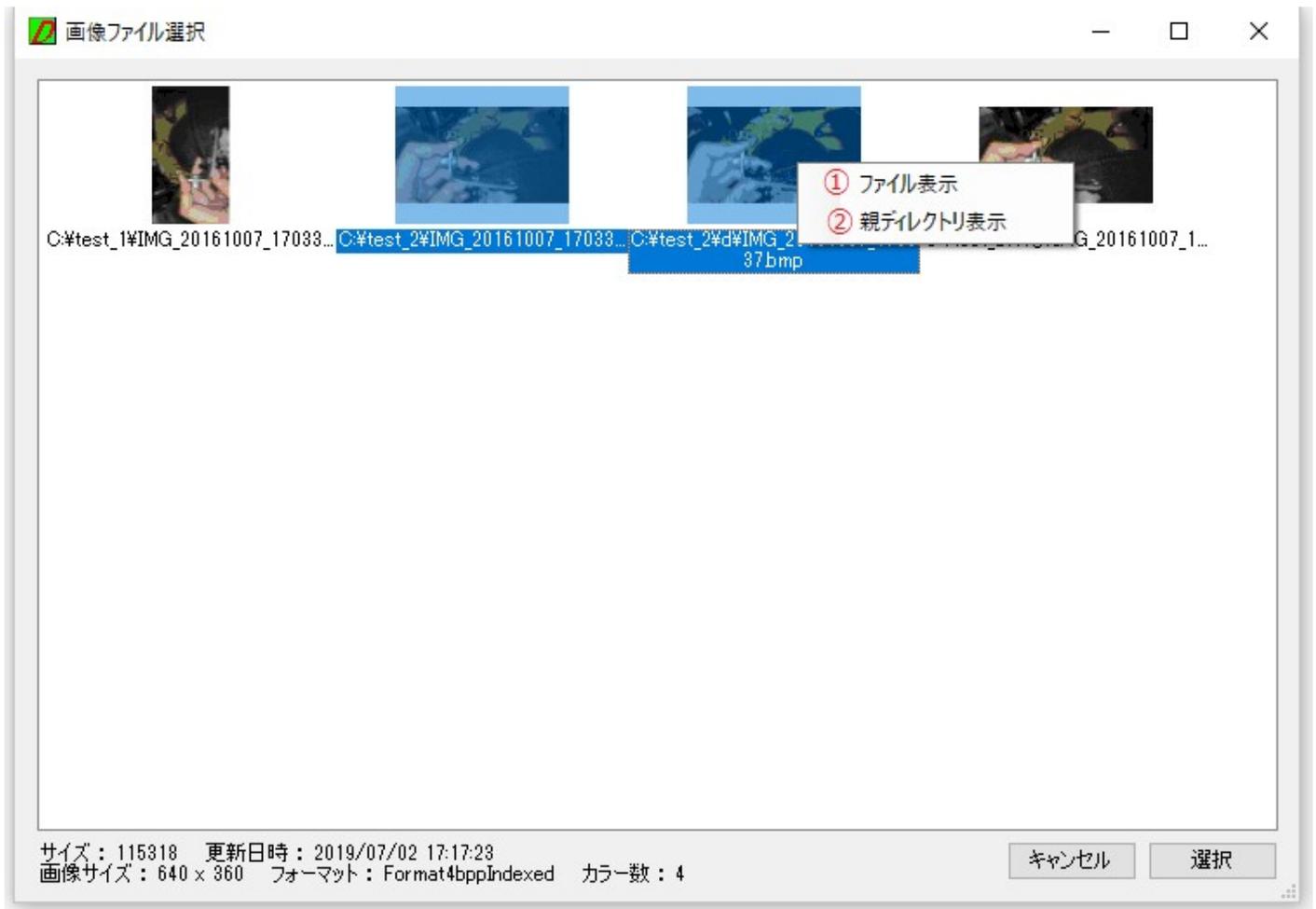


図 11 選択画面のコンテキストメニュー

- ① 「ファイル表示」
選択しているファイルを実行する。
※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)

- ② 「親ディレクトリ表示」
選択しているファイルの親ディレクトリのパスで実行する。
※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)
(通常はエクスプローラーでディレクトリ表示)

5.2.2 マージ先ツリー表示のコンテキストメニュー

マージ画面のマージ先のツリー表示で、右クリックすると表示されるコンテキストメニュー。

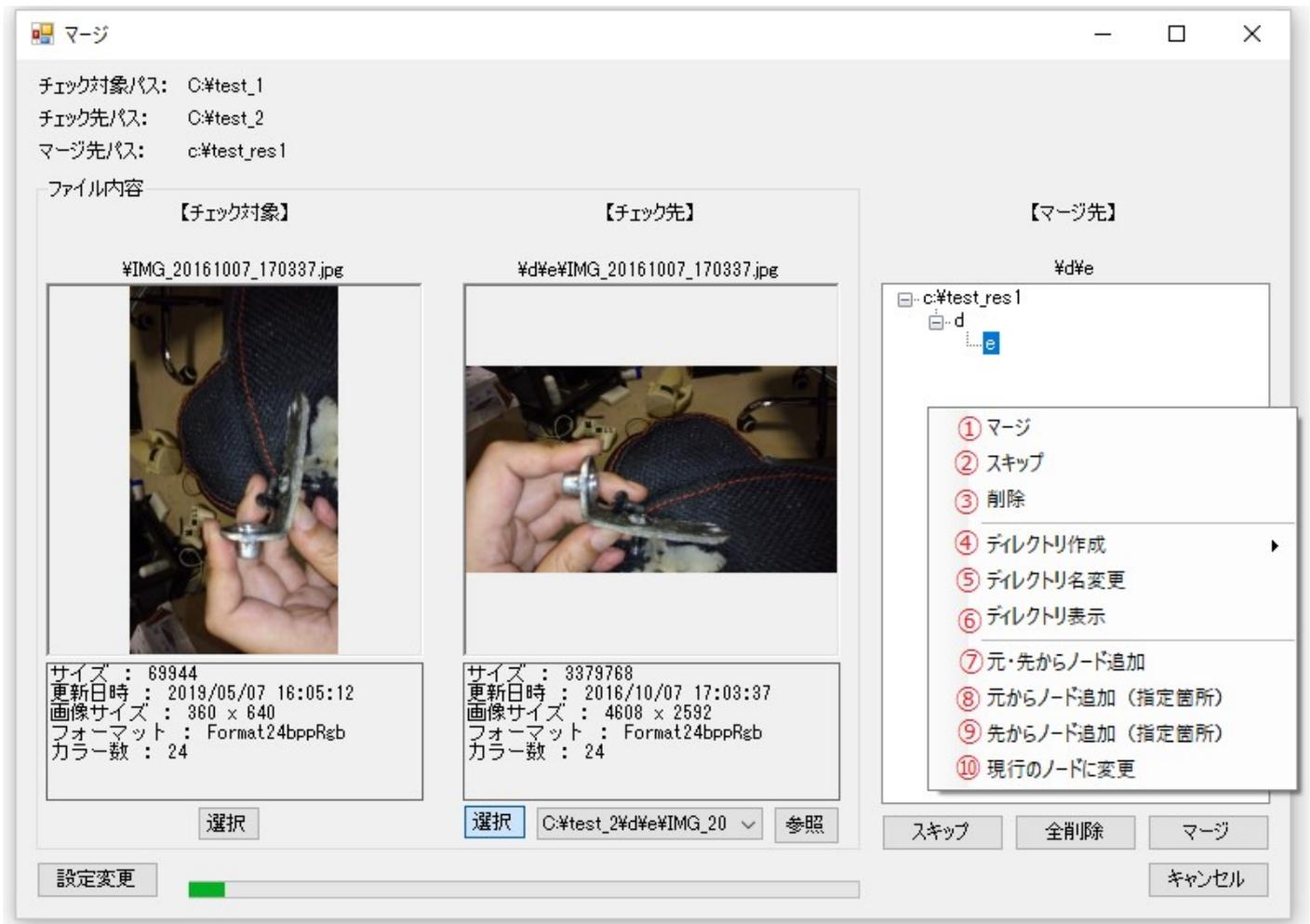


図 12 マージ先ツリー表示のコンテキストメニュー

- ① 「マージ」
マージ画面の「マージ」ボタンと同等。
- ② 「スキップ」
マージ画面の「スキップ」ボタンと同等。
- ③ 「削除」
マージ画面の「全削除」ボタンと同等。
- ④ 「ディレクトリ作成」
直接クリックした場合、ツリーの選択しているディレクトリの配下にサブメニューで指定したディレクトリを作成。
サブメニューを開いた場合、ディレクトリ名を入力後、リターンキーでツリーの選択しているディレクトリの配下に入力したディレクトリを作成。

- ⑤ 「ディレクトリ名変更」
ツリーの選択しているディレクトリが変更可能な状態となる。

- ⑥ 「ディレクトリ表示」
ツリーの選択しているディレクトリを実行する。
※起動されるツールは Windows に委ねる。(注 1)
(通常はエクスプローラーでディレクトリ表示)

- ⑦ 「元・先からノード追加」
チェック対象、チェック先のディレクトリ構造を元にツリーを追加する。
※この時点ではディレクトリは生成されず、マージとして指定されたときに生成される。
※ツリーの表示の初期状態は、マージ先に実在するディレクトリ構造のみ

- ⑧ 「元からノード追加」
チェック対象のディレクトリ構造を元にツリーを追加する。
※この時点ではディレクトリは生成されず、マージとして指定されたときに生成される。
※ツリーの表示の初期状態は、マージ先に実在するディレクトリ構造のみ

- ⑨ 「先からノード追加」
チェック先のディレクトリ構造を元にツリーを追加する。
※この時点ではディレクトリは生成されず、マージとして指定されたときに生成される。
※ツリーの表示の初期状態は、マージ先に実在するディレクトリ構造のみ

- ⑩ 「現行のノードに変更」
ツリーの表示を一旦クリアし、マージ先に実在するディレクトリ構造のみをツリーに表示する。

5.3 設定画面

設定画面はタブと、ボタンで構成されている。各タブの詳細については別途記載。

※サイズ変更可



図 13 設定画面（共通部分）

- ① 「共通」タブ
重複ファイルの検索とマージ、ログ出力で共通的に使用される設定を行うタブ。
- ② 「ファイル名判定」タブ
重複ファイルをファイル名で判定する際の設定を行うタブ。
- ③ 「テキスト判定」タブ
重複ファイルをテキストファイルのファイル内容で判定する際の設定を行うタブ。
- ④ 「画像判定」タブ

重複ファイルを画像ファイルのファイル内容で判定する際の設定を行うタブ。

- ⑤ 「マージ設定」 タブ
マージを行う際の設定を行うタブ。
- ⑥ 「ログ」 タブ
ログファイルの設定を行うタブ。
- ⑦ 「保存」 ボタン
設定を変更すると活性となり、設定を保存する。
- ⑧ 「閉じる」 ボタン
設定画面を閉じる。
- ⑨ 「バージョン」 ボタン
バージョン画面を表示する。（「5.4 バージョン画面」を参照）

※バイナリー判定は設定なし

5.3.1 設定画面「共通」タブ

重複ファイルの検索とマージ、ログ出力で共通的に使用される設定を行う。

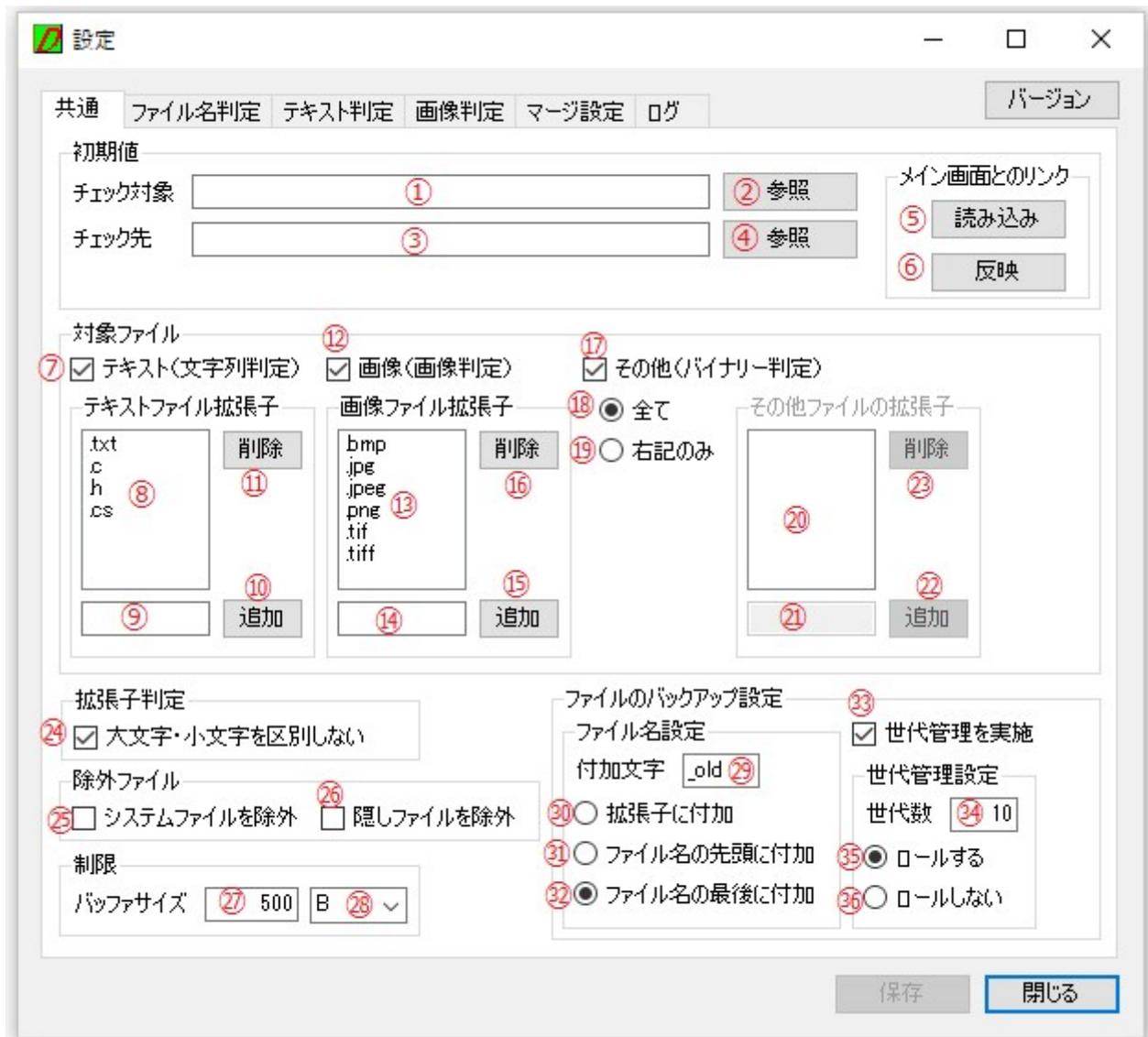


図 14 設定画面「基本設定」タブ

- ① 「初期値」「チェック対象」入力欄
起動時にメイン画面に表示するチェック対象のパスを入力する。
※D&D 可
- ② 「初期値」「チェック対象」「参照」ボタン
「フォルダーの参照」画面を開き、チェック対象を指定する。
※メイン画面でチェック対象に「ファイル」が選択されている場合は「開くファイルの選択」画面。
- ③ 「初期値」「チェック先」入力欄
起動時にメイン画面に表示するチェック先のパスを入力する。
※D&D 可

- ④ 「初期値」「チェック先」「参照」ボタン
「フォルダーの参照」画面を開き、チェック先を指定する。
- ⑤ 「初期値」「メイン画面とのリンク」「読み込み」ボタン
メイン画面のチェック対象、チェック先に記載されているパスを「初期値」のチェック対象、チェック先にコピーする。
- ⑥ 「初期値」「メイン画面とのリンク」「反映」ボタン
「初期値」のチェック対象、チェック先に記載されているパスをメイン画面のチェック対象、チェック先にコピーする。
- ⑦ 「対象ファイル」「テキスト」チェックボックス
テキストファイルを重複ファイルの検索対象とする場合にチェックする。
※テキストファイルは文字列の一致判定
- ⑧ 「対象ファイル」「テキストファイル拡張子」リスト
テキストファイルと判断する拡張子のリストを表示する。
※初期化したい場合は、リストを全て削除し、ツールを再起動する。
- ⑨ 「対象ファイル」「テキストファイル拡張子」入力欄
テキストファイルと判断する拡張子を入力する。
※リターンキーで「追加」ボタンへ遷移
- ⑩ 「対象ファイル」「テキストファイル拡張子」「追加」ボタン
⑨で入力した拡張子をリストに追加する。
- ⑪ 「対象ファイル」「テキストファイル拡張子」「削除」ボタン
⑧で選択した拡張子をリストから削除する。
- ⑫ 「対象ファイル」「画像」チェックボックス
画像ファイルを重複ファイルの検索対象とする場合にチェックする。
※画像ファイルは画像の一致判定
- ⑬ 「対象ファイル」「画像ファイル拡張子」リスト
画像ファイルと判断する拡張子のリストを表示する。
※初期化したい場合は、リストを全て削除し、ツールを再起動する。
- ⑭ 「対象ファイル」「画像ファイル拡張子」入力欄
画像ファイルと判断する拡張子を入力する。

※リターンキーで「追加」ボタンへ遷移

- ⑮ 「対象ファイル」「画像ファイル拡張子」「追加」ボタン
⑭で入力した拡張子をリストに追加する。
- ⑯ 「対象ファイル」「画像ファイル拡張子」「削除」ボタン
⑬で選択した拡張子をリストから削除する。
- ⑰ 「対象ファイル」「その他」チェックボックス
その他のファイルを重複ファイルの検索対象とする場合にチェックする。
※その他ファイルはバイナリーの一一致判定
- ⑱ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」「全て」チェックボックス
テキスト、画像ファイル以外を「その他のファイル」と判断する場合にチェックする。
- ⑲ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」「右記のみ」チェックボックス
テキスト、画像ファイル以外かつ「その他ファイルの拡張子」リストの拡張子のファイルを「その他のファイル」と判断する場合にチェックする。
- ⑳ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」リスト
その他ファイルと判断する拡張子のリストを表示する。
※⑱をチェックした場合は無効
- ㉑ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」入力欄
その他のファイルと判断する拡張子を入力する。
※リターンキーで「追加」ボタンへ遷移
- ㉒ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」「追加」ボタン
㉑で入力した拡張子をリストに追加する。
- ㉓ 「対象ファイル」「その他ファイルの拡張子」「削除」ボタン
㉑で選択した拡張子をリストから削除する。
- ㉔ 「拡張子判定」「大文字・小文字を区別しない」チェックボックス
拡張子の大文字・小文字を区別しない場合にチェックする。
※通常はチェックすること
- ㉕ 「除外ファイル」「システムファイルを除外」チェックボックス
検索やマージでシステムファイルを除外したい場合にチェックする。

- ②⑥ 「除外ファイル」「隠しファイルを除外」チェックボックス
検索やマージで隠しファイルを除外したい場合にチェックする。
- ②⑦ 「制限」「バッファサイズ」入力欄
比較などでファイルを読み込む際のバッファのサイズを制限する。
※②⑧の単位と合わせてサイズとなり、int の最大値までが有効
※大きい値だと比較に時間がかかる場合がある
- ②⑧ 「制限」「バッファサイズ単位」コンボボックス
バッファサイズの単位と選択する。
- ②⑨ 「ファイルのバックアップ設定」「ファイル設定」「付加文字」入力欄
ファイルをバックアップする際に付加する文字を入力する。
※付加される場所は③⑩～③②で設定
※入力無しても可
- ③⑩ 「ファイルのバックアップ設定」「ファイル設定」「拡張子に付加」ラジオボタン
②⑨を拡張子に付加をする場合にチェックする。
- ③⑪ 「ファイルのバックアップ設定」「ファイル設定」「ファイル名の先頭に付加」ラジオボタン
②⑨をファイル名の先頭に付加をする場合にチェックする。
- ③⑫ 「ファイルのバックアップ設定」「ファイル設定」「ファイル名の最後に付加」ラジオボタン
②⑨をファイル名の最後に付加をする場合にチェックする。
- ③⑬ 「ファイルのバックアップ設定」「世代管理を実施」チェックボックス
バックアップファイルを世代管理する場合にチェックする。
- ③⑭ 「ファイルのバックアップ設定」「世代管理設定」「世代数」入力欄
バックアップファイルの世代数を入力する。
- ③⑮ 「ファイルのバックアップ設定」「世代管理設定」「ロールする」ラジオボタン
バックアップファイルが世代数を超えた場合にロールしたい（0に戻る）場合にチェックする。
- ③⑯ 「ファイルのバックアップ設定」「世代管理設定」「ロールしない」ラジオボタン
バックアップファイルが世代数を超えた場合にロールしない（エラー表示）場合にチェックする。

※バックアップ関連の詳細は（注2）を参照

5.3.2 設定画面「ファイル名判定」タブ

重複ファイルの検索で、ファイル名で判定を行う際の設定を行う。

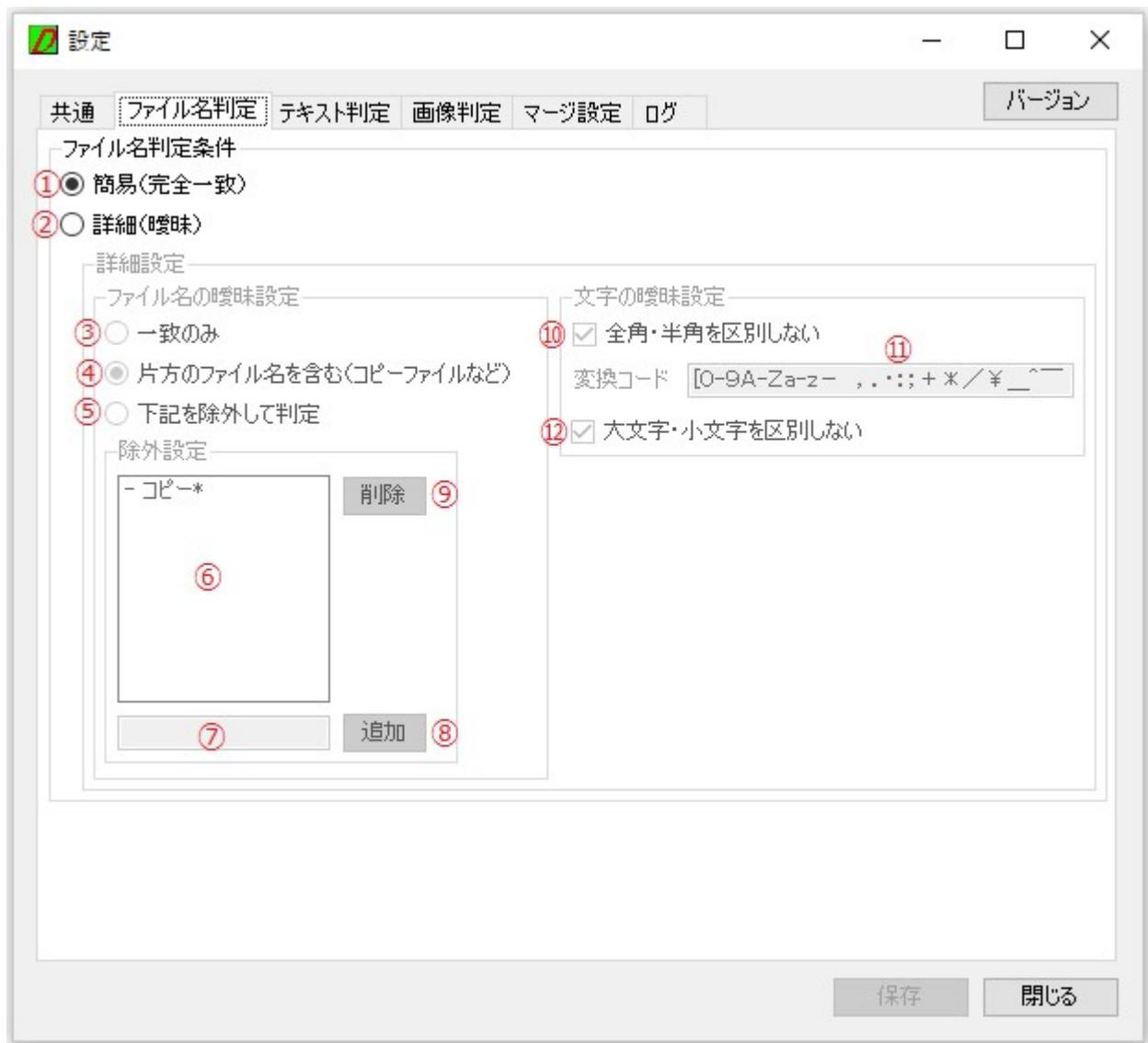


図 15 設定画面「ファイル名判定」タブ

- ① 「簡易（完全一致）」ラジオボタン
ファイル名で重複ファイルを検索する際、完全に一致した場合に重複ファイルと判定する場合にチェックする。
- ② 「詳細（曖昧）」ラジオボタン
ファイル名で重複ファイルを検索する際、一部一致した場合に重複ファイルと判定する場合にチェックする。
詳細は以下を参照。
- ③ 「ファイル名の曖昧設定」「一致のみ」ラジオボタン
重複ファイルを判定する際、ファイル名が一致した場合のみ一致と判断する場合にチェックする。

※文字の曖昧設定のみ有効

- ④ 「ファイル名の曖昧設定」「片方のファイル名を含む（コピーファイルなど）」ラジオボタン
重複ファイルを判定する際、片方のファイル名がもう一方のファイル名を含む場合に一致と判断する場合にチェックする。

例：「AAA.txt」（元ファイル）と「AAA_コピー.txt」（コピーファイル）を一致と判断

- ⑤ 「ファイル名の曖昧設定」「下記を除外して判定」ラジオボタン
重複ファイルを判定する際、指定文字列をファイル名から事前に削除して、一致を判断する場合にチェックする。

例：「ABCDEFGH.txt」に対し、削除文字「BC」の場合、ADEFH.txt を一致と判断

また、文字列はワイルドカード「*」（1つ）を使用可能。

先頭に付加した場合は前の文字を削除、後方に付加した場合は前方の文字を削除、中央に付加した場合は中央部分の文字を削除する。

「ABCDEFGH.txt」に対し、

例1：削除文字「CD*」の場合、AB.txt を一致と判断

例2：削除文字「*C」の場合、DEFGH.txt を一致と判断

例3：削除文字「B*EF」の場合、AG.txt を一致と判断

- ⑥ 「ファイル名の曖昧設定」「除外設定」リスト
重複ファイルの判定の際に、ファイル名から除外する文字列を登録するリスト。

- ⑦ 「ファイル名の曖昧設定」「除外設定」入力欄
ファイル名から除外する文字列を入力する。
文字列にはワイルドカード「*」を1つ設定可能。詳細は⑤を参照。
※リターンキーで⑧へ遷移

- ⑧ 「ファイル名の曖昧設定」「除外設定」「追加」ボタン
⑦で入力した文字列をリストに登録する。

- ⑨ 「ファイル名の曖昧設定」「除外設定」「削除」ボタン
⑥「除外設定」リストで選択した項目を削除する。

- ⑩ 「文字の曖昧設定」「全角・半角を区別しない」チェックボックス
重複ファイルの判定の際に、ファイル名の文字の全角・半角が異なる場合でも一致と判断する場合にチェックする。

- ⑪ 「文字の曖昧設定」「変換コード」入力欄
全角・半角を変換するためのコードを入力する。

※VBの変換機能を使用。

※初期化したい場合は、リストを全て削除し、ツールを再起動する。

- ⑫ 「文字の曖昧設定」「大文字・小文字を区別しない」チェックボックス
重複ファイルの判定の際に、ファイル名の大文字・小文字が異なる場合でも一致と判断する場合に
チェックする。

5.3.3 設定画面「テキスト判定」タブ

重複ファイルの検索で、テキストファイルの判定を行う際の設定を行う。

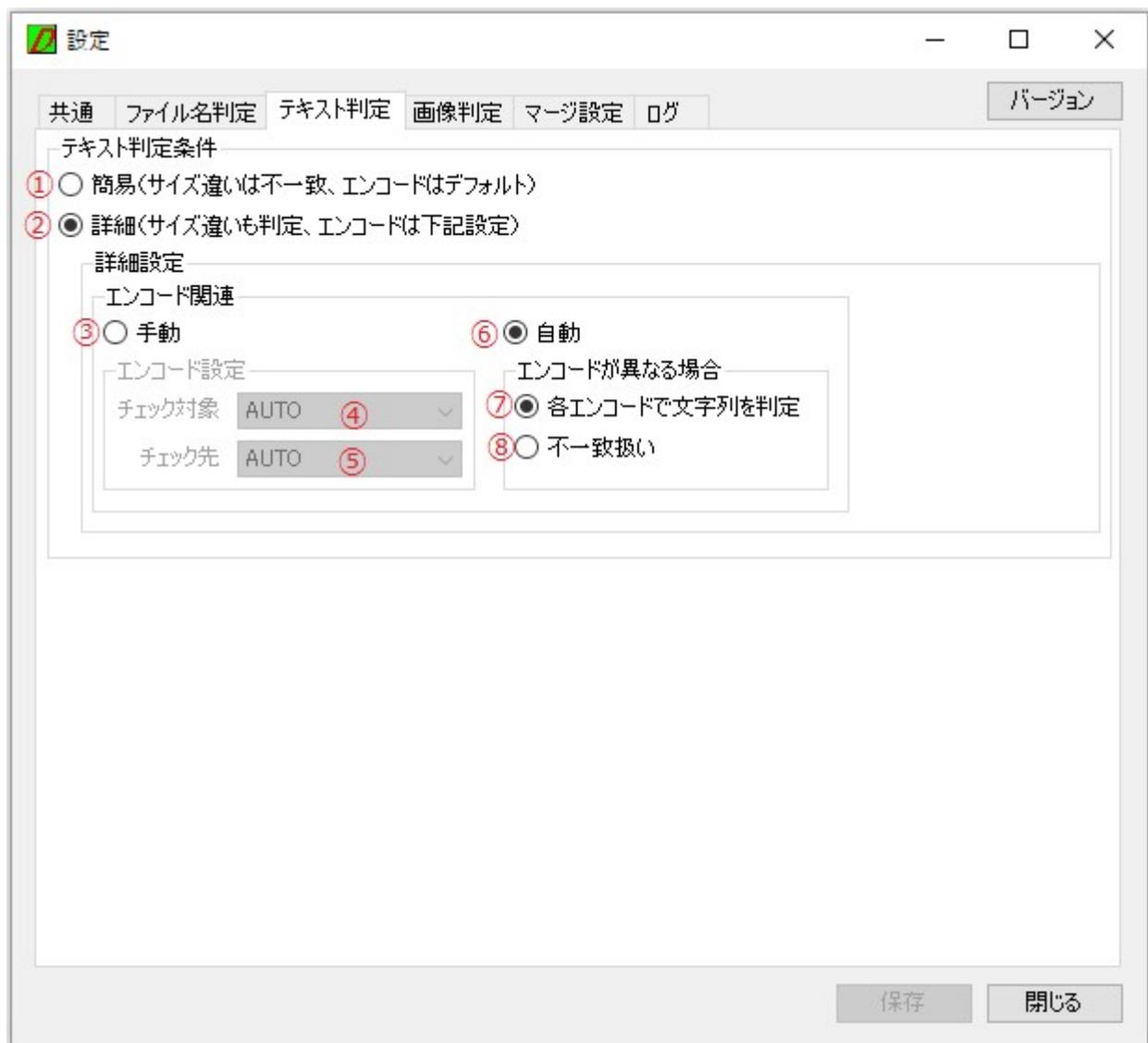


図 16 設定画面「テキスト判定」タブ

- ① 「簡易（サイズ違いは不一致、エンコードはデフォルト）」ラジオボタン
テキストファイルの重複ファイルを検索する際、サイズが異なる場合に不一致と判定する場合にチェックする。
サイズが同じ場合にファイルのテキストを比較する。
- ② 「詳細（曖昧）」ラジオボタン
テキストファイルの重複ファイルを検索する際、サイズが異なる場合でも指定したエンコードで開き、テキストを比較し判定する場合にチェックする。
- ③ 「エンコード関連」「手動」ラジオボタン
エンコードを手動で設定する場合にチェックする。

- ④ 「エンコード関連」「エンコード設定」「チェック対象」コンボボックス
テキストファイルの重複ファイルの検索をする際、チェック対象のテキストファイルを開く際のエンコードを指定する。
- ⑤ 「エンコード関連」「エンコード設定」「チェック先」コンボボックス
テキストファイルの重複ファイルの検索をする際、チェック先のテキストファイルを開く際のエンコードを指定する。
- ⑥ 「エンコード関連」「自動」ラジオボタン
テキストファイルの重複ファイルの検索をする際、ファイルの内容から自動でエンコードを判別する場合にチェックする。
※エンコードの自動判断は、完全ではないため注意。
- ⑦ 「エンコード関連」「エンコードが異なる場合」「各エンコードで文字列を判定」ラジオボタン
ファイルのエンコードが異なる場合でも、文字列を比較する場合にチェックする。
- ⑧ 「エンコード関連」「エンコードが異なる場合」「各エンコードで文字列を判定」ラジオボタン
ファイルのエンコードが異なる場合に不一致扱いとする場合にチェックする。

5.3.4 設定画面「画像判定」タブ

重複ファイルの検索で、画像ファイルの判定を行う際の設定を行う。

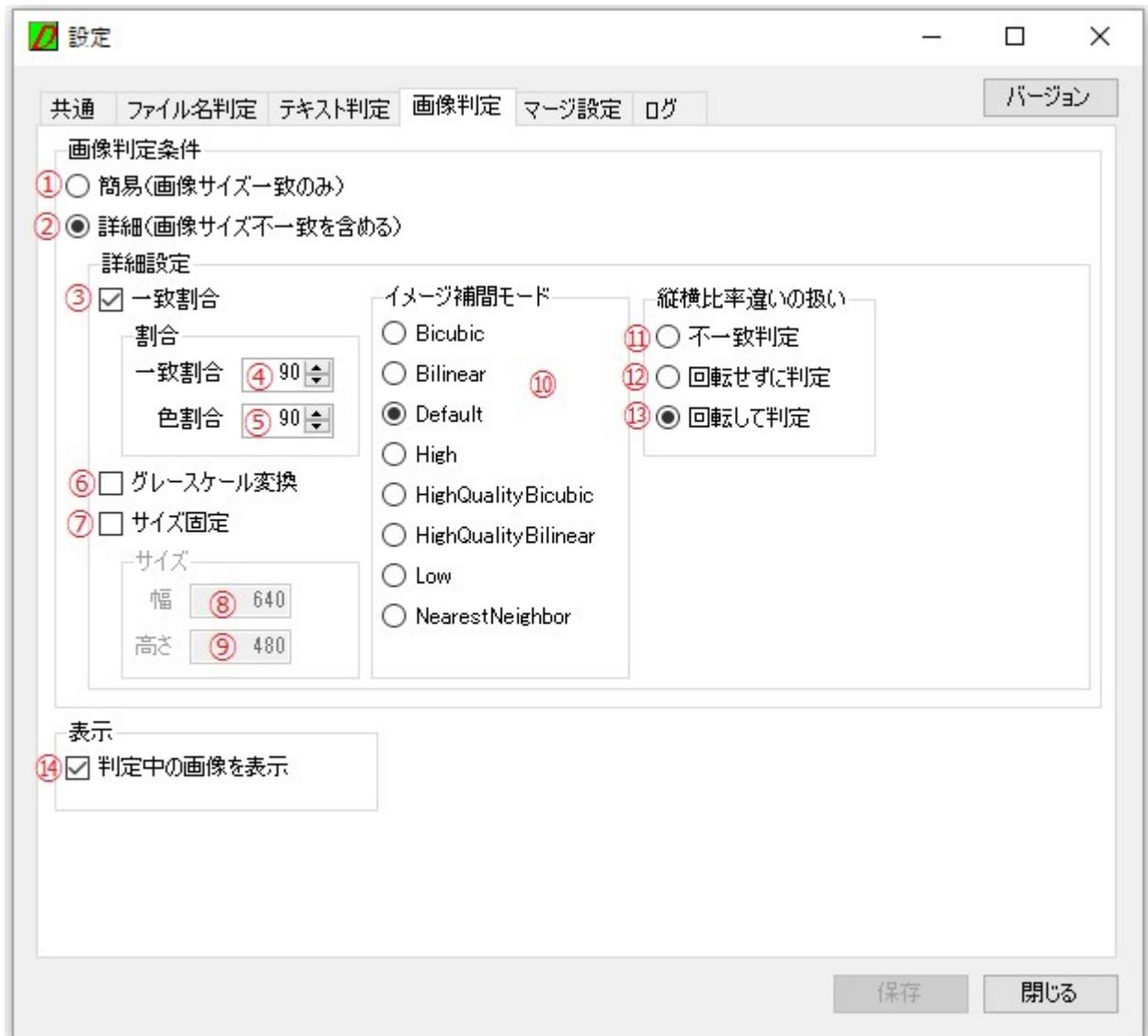


図 17 設定画面「画像判定」タブ

- ① 「簡易（画像サイズ一致のみ）」ラジオボタン
画像ファイルの重複ファイルを検索する際、サイズが異なる場合に不一致と判定する場合にチェックする。
サイズが同じ場合にファイルの画像を比較する。
- ② 「詳細（画像サイズ不一致を含める）」ラジオボタン
画像ファイルの重複ファイルを検索する際、サイズが異なる場合でも画像を比較し判定する場合にチェックする。
画像の比較は、同じサイズに変換してから行う。
- ③ 「詳細設定」「一致割合」チェックボックス

画像ファイルを比較する際に、色の誤差の許容割合と一致する画素の割合で一致と判断する場合にチェックする。

チェックしない場合、完全一致で一致を判断する。

④ 「詳細設定」「割合」「一致割合」入力欄

重複ファイルと判断する一致画素の割合 (%) を設定する。

※設定可能な範囲は 0~100 であるが、80%以下では誤判定が増える。

⑤ 「詳細設定」「割合」「色割合」入力欄

画素の一致判定の際の色の誤差の許容割合 (%) を設定する。

※設定可能な範囲は 0~100 であるが、80%以下では誤判定が増える。

⑥ 「詳細設定」「グレースケール変換」チェックボックス

画像ファイルを比較する際に、グレースケール (白黒画像) に変換してから判断する場合にチェックする。

※一致判定のヒット率が上がるかも

⑦ 「詳細設定」「サイズ固定」チェックボックス

画像ファイルを比較する際に、画像サイズを固定的に変換してから判断する場合にチェックする。

※実際の画像より小さくすることで、処理の短縮や一致判定のヒット率が向上する

⑧ 「詳細設定」「サイズ」「幅」入力欄

画像サイズを固定的に変換する場合の幅を入力する。

⑨ 「詳細設定」「サイズ」「高さ」入力欄

画像サイズを固定的に変換する場合の高さを入力する。

⑩ 「詳細設定」「イメージ補間モード」各ラジオボタン

画像を変換する際の、画素間の補間モードを設定する。

※画像サイズをツール等で変換していた場合、そのツールのモードと合わせることで、ヒット率が向上する

⑪ 「詳細設定」「縦横比率違いの扱い」「不一致判定」ラジオボタン

縦横比率が異なる画像 (縦長と横長の画像) の比較を行う際、不一致とする場合にチェックする。

⑫ 「詳細設定」「縦横比率違いの扱い」「回転せずに判定」ラジオボタン

縦横比率が異なる画像 (縦長と横長の画像) の比較を行う際、そのままの状態 サイズを合わせて判定する場合にチェックする。

⑬ 「詳細設定」「縦横比率違いの扱い」「回転して判定」ラジオボタン

縦横比率が異なる画像（縦長と横長の画像）の比較を行う際、90度、270度回転して比率を合わせて判定する場合にチェックする。

5.3.5 設定画面「マージ設定」タブ

重複ファイルをマージ（統合）するための設定を行う。



図 18 設定画面「マージ設定」タブ

- ① 「マージ先」 「チェック対象」 ラジオボタン
マージ（統合）先をメイン画面のチェック対象で指定したディレクトリとする場合にチェックする。
※チェック対象のファイルが上書き、削除されるため注意
- ② 「マージ先」 「チェック先」 ラジオボタン
マージ（統合）先をメイン画面のチェック先で指定したディレクトリとする場合にチェックする。
※チェック先のファイルが上書き、削除されるため注意
- ③ 「マージ先」 「右記パス」 ラジオボタン
マージ（統合）先を入力欄で指定する場合にチェックする。
※指定先が存在するディレクトリ場合はファイルが上書き、削除されるため注意

- ④ 「マージ先」「右記パス」 入力欄
マージ（統合）先のパスを入力する。
※D&D 可
- ⑤ 「マージ先」「右記パス」「参照」 ボタン
「フォルダの参照」を開き、マージ（統合）先を指定する。
- ⑥ 「マージ対象」「重複ファイルのみ」 ラジオボタン
マージする対象を重複ファイルの検索結果のみとする場合にチェックする。
※結果がない場合は実行されない
- ⑦ 「マージ対象」「全ファイル」 ラジオボタン
マージする対象を全ファイルとする場合にチェックする。
重複ファイル以外は、ファイルのコピー・移動のみとなる。
- ⑧ 「マージ条件」「自動選択」 ラジオボタン
マージを自動で行う場合にチェックする。
※手動選択の際、自動選択（自動設定）の設定内容で初期状態の優先ファイルが選択される。
- ⑨ 「マージ条件」「自動設定」「サイズ」「未判定」 ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルのサイズで判断しない場合にチェックする。
- ⑩ 「マージ条件」「自動設定」「サイズ」「大きい」 ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルのサイズが大きい方を優先と判断する場合にチェックする。
- ⑪ 「マージ条件」「自動設定」「サイズ」「小さい」 ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルのサイズが小さい方を優先と判断する場合にチェックする。
- ⑫ 「マージ条件」「自動設定」「更新日時」「未判定」 ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルの更新日時に判断しない場合にチェックする。
- ⑬ 「マージ条件」「自動設定」「更新日時」「新しい」 ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルの更新日時が新しい方を優先と判断する場合にチェックする。

- ⑭ 「マージ条件」「自動設定」「更新日時」「古い」ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルの更新日時が古い方を優先と判断する場合にチェックする。
- ⑮ 「マージ条件」「自動設定」「カラー数 (画像のみ)」「未判定」ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、画像ファイルのカラー数で判断しない場合にチェックする。
※画像ファイルのみ有効
- ⑯ 「マージ条件」「自動設定」「カラー数 (画像のみ)」「多い」ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、画像ファイルのカラー数が多い方を優先と判断する場合にチェックする。
- ⑰ 「マージ条件」「自動設定」「カラー数 (画像のみ)」「少ない」ラジオボタン
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、画像ファイルのカラー数が少ない方を優先と判断する場合にチェックする。
- ⑱ 「マージ条件」「自動設定」「マージ先ディレクトリ階層」「元と同じ階層」ラジオボタン
マージの際のマージ先のディレクトリ階層をチェック対象、チェック先に格納されている階層に合わせる場合にチェックする。
- ⑲ 「マージ条件」「自動設定」「マージ先ディレクトリ階層」「1階層に集約」ラジオボタン
マージの際のマージ先のディレクトリ階層をチェック対象、チェック先に格納されている階層に合わせず、マージ先のディレクトリの直下に集約する場合にチェックする。
- ⑳ 「マージ条件」「自動設定」「優先順位」リスト
マージの際の優先ファイルを判定する際の条件として、ファイルのサイズ、更新日時、カラー数の優先順位を示す。上方が優先。変更可能。
- ㉑ 「マージ条件」「自動設定」「優先順位」「高」ボタン
㉑で選択した項目を優先度を上げる (上に移動)。
- ㉒ 「マージ条件」「自動設定」「優先順位」「低」ボタン
㉑で選択した項目の優先度を下げる (下に移動)。
- ㉓ 「マージ条件」「手動選択」ラジオボタン
マージを手動で行う場合にチェックする。
※手動選択の際、自動選択 (自動設定) の設定内容で初期状態の優先ファイルが選択される。
- ㉔ 「マージ条件」「手動設定」「手動選択ファイル」「重複ファイルのみ」ラジオボタン

マージを手動で行う際、重複ファイルのみ手動で行い、重複ファイル以外のファイルは自動で行う場合にチェックする。

- ②⑤ 「マージ条件」「手動設定」「手動選択ファイル」「全ファイル」ラジオボタン
マージを手動で行う際、全ファイルを自動で行う場合にチェックする。
- ②⑥ 「ファイル設定」「モード」「コピー」ラジオボタン
マージを行う際、マージ元からファイルをコピーする場合にチェックする。
※マージ元にファイルが残る
- ②⑦ 「ファイル設定」「モード」「移動」ラジオボタン
マージを行う際、マージ元からファイルを移動する場合にチェックする。
※マージ元からファイルがなくなる
- ②⑧ 「ファイル設定」「重複ファイル」「ごみ箱へ移動」ラジオボタン
重複ファイルのマージを行う際、優先されるファイル以外をごみ箱へ移動する場合にチェックする。
- ②⑨ 「ファイル設定」「重複ファイル」「削除」ラジオボタン
重複ファイルのマージを行う際、優先されるファイル以外を削除する場合にチェックする。
- ③⑩ 「ファイル設定」「重複ファイル」「保持」ラジオボタン
重複ファイルのマージを行う際、優先されるファイル以外を保持（残す）場合にチェックする。
- ③⑪ 「ファイル設定」「マージ先ファイル」「ごみ箱へ移動」ラジオボタン
マージを行う際、マージ先に同名ファイルが既に存在する際に、そのファイルをごみ箱へ移動する場合にチェックする。
- ③⑫ 「ファイル設定」「マージ先ファイル」「削除」ラジオボタン
マージを行う際、マージ先に同名ファイルが既に存在する際に、そのファイルを削除する場合にチェックする。
- ③⑬ 「ファイル設定」「マージ先ファイル」「バックアップ」ラジオボタン
マージを行う際、マージ先に同名ファイルが既に存在する際に、そのファイルをバックアップする場合にチェックする。
※バックアップの設定は「共通」タブを参照。機能の詳細は（注2）参照
- ③⑭ 「チェック先を他の候補に変更時」「チェック先を選択」ラジオボタン
マージ画面にて、重複ファイルとしてチェック先が複数ある場合、チェック先を変更した場合に、チェック対象と比較せずにチェック先の選択ボタンを選択する。

- ③⑤ 「チェック先を他の候補に変更時」「優先度を比較して自動選択」ラジオボタン
マージ画面にて、重複ファイルとしてチェック先が複数ある場合、チェック先を変更した場合に、チェック対象と比較し、優先されるファイルの選択ボタンを選択する。

- ③⑥ 「選択変更時のノード表示」「選択したファイルのノードに変更」ラジオボタン
マージ画面にて、優先ファイルの選択を変更した場合、マージ先のノード（ディレクトリ）の選択を変更したファイルに合わせる場合にチェックする。

- ③⑦ 「選択変更時のノード表示」「変更しない」ラジオボタン
マージ画面にて、優先ファイルの選択を変更した場合、マージ先のノード（ディレクトリ）の選択を変更しない場合にチェックする。

- ③⑧ 「マージ実施時にこの画面を表示」チェックボックス
マージを開始し、マージ画面が表示された時に、この設定タブも自動で表示する場合にチェックする。

5.3.6 設定画面「ログ」タブ

出力するログファイルの設定を行う。

ログの設定を変更した場合、設定が反映されるのは設定保存時となる。

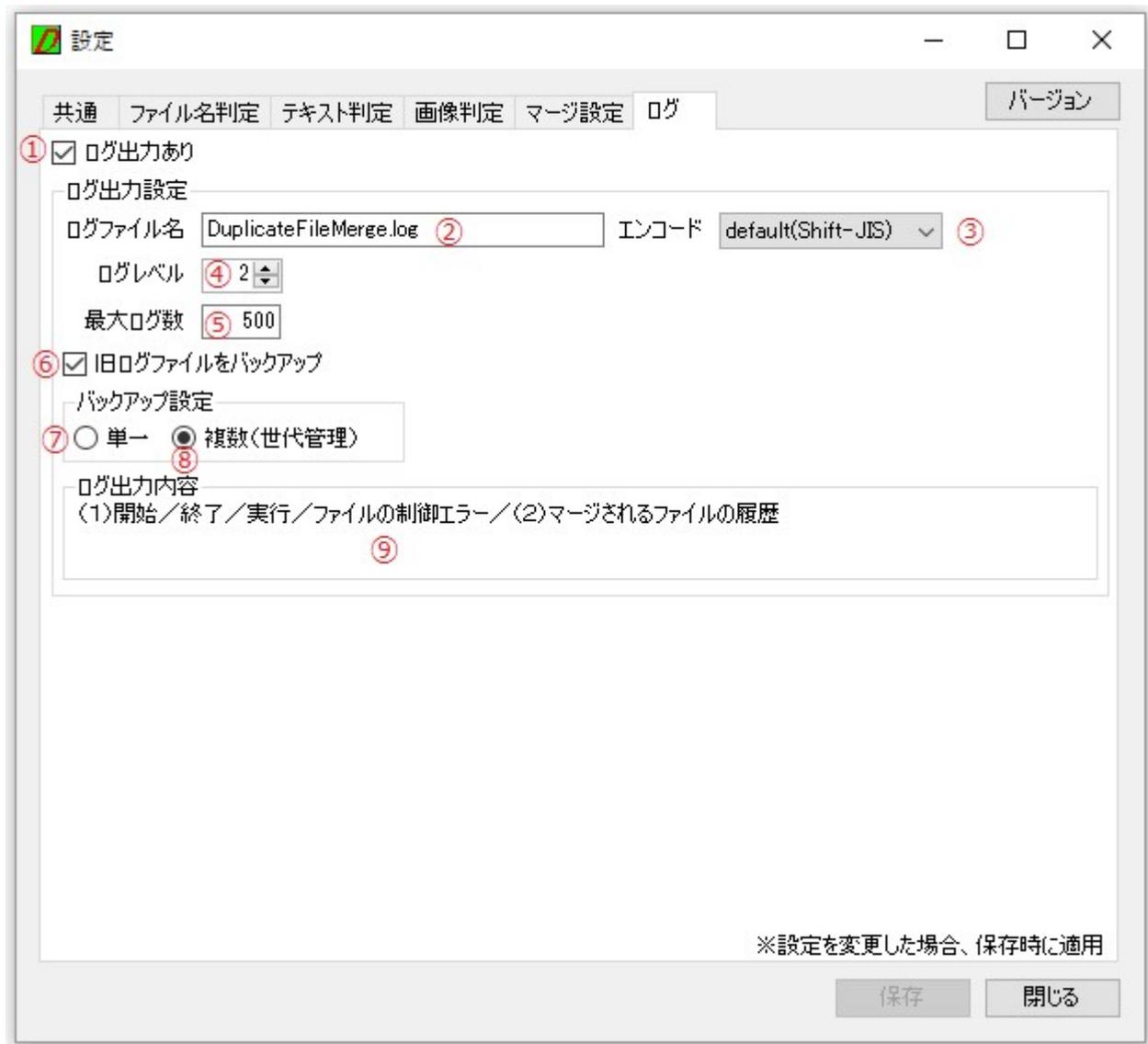


図 19 設定画面「ログ」タブ

- ① 「ログ出力有り」チェックボックス
ログを出力する場合にチェックする。
- ② 「ログ出力設定」「ログファイル名」入力欄
出力するログのファイル名を入力する。
※パスの省略、フルパス指定が可能
- ③ 「ログ出力設定」「エンコード」コンボボックス
出力するログのファイルのエンコードを選択する。
※AUTO（自動判定）可能

- ④ 「ログ出力設定」「ログレベル」入力欄
ログファイルに出力するログのレベルを設定する。
各ログレベルで出力される内容は⑨に表示される。
- ⑤ 「ログ出力設定」「最大ログ数」入力欄
ログファイルに出力するログの最大数を入力する。
この数を超えた場合は、ファイルを更新する。
- ⑥ 「ログ出力設定」「旧ファイルをバックアップ」チェックボックス
再起動した場合や最大ログ数を超えた場合に、ファイルをバックアップする場合にチェックする。
- ⑦ 「ログ出力設定」「バックアップ設定」「単一」ラジオボタン
ログファイルのバックアップを1ファイルのみとする場合にチェックする。
- ⑧ 「ログ出力設定」「バックアップ設定」「複数（世代管理）」ラジオボタン
ログファイルのバックアップを世代管理する場合にチェックする。
※バックアップの設定は「共通」タブを参照。機能の詳細は（注2）を参照。
- ⑨ 「ログ出力設定」「ログ出力内容」表示欄
選択中のログレベルに対応するログ出力内容を表示する。

5.4 バージョン画面

現バージョンの表示や最新バージョンの表示、最新ファイルのダウンロードを行う。

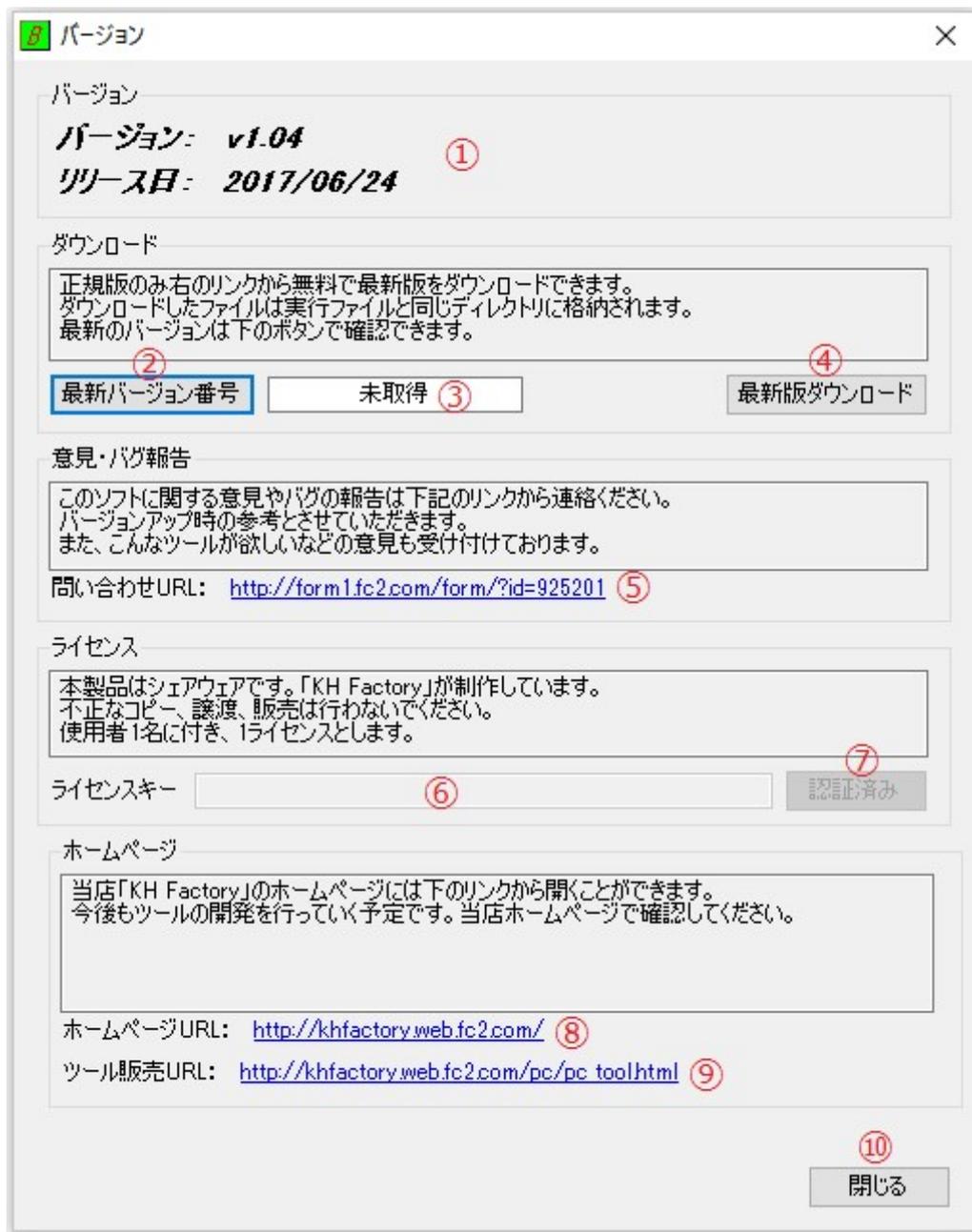


図 20 バージョン画面

- ① 「バージョン」
起動しているツールのバージョン番号とリリース日を表示する。
- ② 「ダウンロード」「最新バージョン番号」ボタン
最新バージョン番号をネット経由で取得し、最新バージョン番号表示欄に表示する。
- ③ 「ダウンロード」最新バージョン番号表示欄
取得したバージョン番号を表示する。

- ④ 「ダウンロード」「最新版ダウンロード」ボタン
最新版をネット経由でダウンロードする。最新版が使用されている場合はダウンロードするか確認される。
実行場所にバージョンを問わず同名 (FileCompBackup_NewVer.zip) の圧縮ファイルが保存されるため、旧バージョンのファイルがある場合は上書きの確認をされる。
最新バージョンでは不具合がある可能性があるため、旧バージョンの保存を推奨。
- ⑤ 「意見・バク報告」問い合わせ URL
「お問い合わせフォーム」のリンク。
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 2)
- ⑥ 「ライセンス」ライセンスキー入力欄
ライセンスキーを入力する。
ライセンスキーの登録が完了すると非活性となる。
- ⑦ 「ライセンス」「登録」ボタン
ライセンスキーを登録する。
ライセンスキーの登録が完了すると「認証済み」となり、非活性となる。
- ⑧ 「ホームページ」ホームページ URL
「KH Factory」のホームページのリンク。
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 2)
- ⑨ 「ホームページ」ツール販売 URL
「KH Factory」のホームページのツール販売へのリンク。
※ウェブブラウザは Windows 設定に依存 (注 2)
- ⑩ 「閉じる」ボタン
バージョン画面を閉じる。

6 注釈説明

6.1 (注 1) 実行・表示の Windows 任せについて

実行や表示は `Process.Start` 処理に任せている。

その為、ユーザがファイルの関連付けなどを変更すると起動されるツールも異なる。

一般的に起動されるツールは以下の通り。

表 7 起動ツール

実行対象	起動ツール
ディレクトリ	エクスプローラー
テキストファイル	メモ帳などのユーザが定義したエディタ
動画ファイル	Media Player などのユーザが定義した動画再生ソフト
URL	インターネットエクスプローラーや Edge などのユーザが定義したウェブブラウザ
メールアドレス	Outlook などのユーザが定義したメーラー
etc.	

6.2 (注 2) ファイルのバックアップについて

ファイルのバックアップを行う際、ファイル名に付加する文字の設定や世代管理の設定が行える。

付加文字は付ける場所を指定でき、世代管理は世代数（付加場所に数値追加）とロールの有無を設定する。

バックアップを行う際、付加文字を付けた（世代数のない）バックアップファイルが最新のファイルとなり、そのファイルがある場合、バックアップファイルに世代番号（空きを 0 から検索）が付加される。

世代数を超過した（空きがない）場合、

ロールする設定の場合、最初の世代番号（0）に戻り、次の番号のファイルを削除。

ロールしない設定の場合、エラー表示。

世代番号の桁数は、設定した世代数で必要な桁数となる。0~9:1桁、10~99:2桁、100~999:3桁・・・

なお、桁数が異なる場合は、同一ファイルとは判断しないため、設定の変更で 0 と 00 が共存することとなる。

元のファイル「`FILE_NAME.txt`」を各設定でバックアップした場合の例を下表に示す。

表 8 ファイルのバックアップ例

付加文字	付加場所	世代管理	ロール	作成されるバックアップファイル
なし	—	なし	—	なし
あり (ADD)	拡張子	なし	—	<code>FILE_NAME.txtADD</code> ↓ (上書き) <code>FILE_NAME.txtADD</code>
あり (ADD)	ファイル名の先頭	あり (世代数 10)	なし	<code>ADDFILE_NAME.txt</code> ↓↓ (空き番号にリネーム)

				ADD00FILE_NAME.txt ↓ ADD10FILE_NAME.txt ↓ エラー表示
あり (ADD)	ファイル名の末尾	あり (世代数 100)	あり	FILE_NAMEADD.txt ↓↓ (空き番号にリネーム) FILE_NAMEADD000.txt ↓ FILE_NAMEADD100.txt (FILE_NAMEADD000.txt 削除) ↓ FILE_NAMEADD000.txt (FILE_NAMEADD001.txt 削除) ↓ (ループ)
なし	拡張子	あり (世代数 99)	なし	FILE_NAME.txt ↓↓ (空き番号にリネーム) FILE_NAME.txt00 ↓ FILE_NAME.txt99 ↓ エラー表示
なし	ファイル名の末尾	あり (世代数 999)	あり	FILE_NAME.txt ↓↓ (空き番号にリネーム) FILE_NAME000.txt ↓ FILE_NAME999.txt (FILE_NAME000.txt 削除) ↓ FILE_NAME000.txt (FILE_NAME001.txt 削除) ↓ (ループ)

7 あとがき

7.1 バグを発見した場合

基本動作の確認はしておりますが、潜伏バグが残っている場合やデグレード（バク対応により既存部分が壊れる）が発生する場合があります。

ご連絡いただければ順次対応しバージョンアップしますので、下記お問い合わせフォームにてご連絡をお願いいたします。

7.2 ご意見・ご要望

使い勝手を良くするためのバージョンアップを重ねております。

このツールに対するご意見、ご要望がありましたらお問い合わせフォームよりご連絡をお願いいたします。

また、「こんなツールがあると便利」というような意見もありましたらご連絡下さい。

7.3 各種 URL

ホームページに、他のツールも載せております。ご参考いただけると幸いです。

ホームページ：<http://khfactory.web.fc2.com/>

ツール販売：http://khfactory.web.fc2.com/pc/pc_tool.html

お問い合わせフォーム；<http://form1.fc2.com/form/?id=925201>

※バージョン画面にも同リンクが張られております。

マニュアルをご覧くださいありがとうございます。

8 更新履歴

日付	バージョン	説明
2019/07/25	1.00	マニュアル初版作成